

# Offshore 5 1987

社団法人 日本外洋帆走協会発行 No.146/300円

昭和62年5月15日発行(毎月1回15日発行) 昭和52年7月21日第三種郵便物認可



《SDC 波切大王》  
写真提供：毎日新聞社

# メルボルン／大阪

## ダブルハンドヨットレース1987

# レース速報



ビクトリアドッグとメルボルンシティー



第1レグスタート 前日のビクトリアドッグ

参加者と報道関係者



第1レグスタート海面（ステーションピア沖）とメルボルンシティー  
①は〈ベンガルⅢ〉 ④は〈ドンガム〉



第1レグスタート直後、船上にて  
左、大島靖大阪市長 右、佐々木大阪市港湾局長



第1レグをスタートさせてホッと一息、レースコミッティーの面々  
左より清水栄太郎、松本哲、谷川晴彦、飯塚功三、秋田博正の各氏、ステーションピアにて

**記者会見** 3月19日(木)12:30～  
ワールドトレードセンターにて



右端より佐々木大阪市港湾局長、福山振興協会会長、ベラメルボルン港湾局長、大島大阪市長、トレバー・ハガードメルボルン市長、秋田レース委員長、ダグ・ラッセルレース委員、小宮ヤマハ常務（敬称略）



記者会見会場

**艇長会議** 3月19日(木)14:00～  
ワールドトレードセンターにて



右端より谷川晴彦、篠原要、秋田博正、ダグ・ラッセル、松本哲の各氏（コミッティー）



艇長会議会場受付、ボランティアで浮田、伊藤の両女性が大活躍



記者会見会場



艇長会議会場、選手と報道関係者で会場は混雑した

## 第2レグスタート地点



ボートシー、日本の関東で言うところの下田港、関西の新和歌浦あたりに位置する



ボートシー、レース関係者以外にもこんなに沢山の人がレースを見守った



グレアゴリーヨットクラブ



グレアゴリーヨットクラブと停泊地



ロイヤルヨットクラブオブビクトリアに上架中の〈SDC 波切大王〉



大儀見薫氏



ワンポイント リーフ+No.3でスタート海面へ向かう〈SDC 波切大王〉



ワーウィック・トンプキンス氏



ファーストホーム  
〈SDC 波切大王〉  
左よりワーウィック・  
トンプキンス氏、  
大儀見薫氏の妹さん、  
お母様、  
奥様、  
大儀見薫氏、  
一人おいて、SDC 野村社長

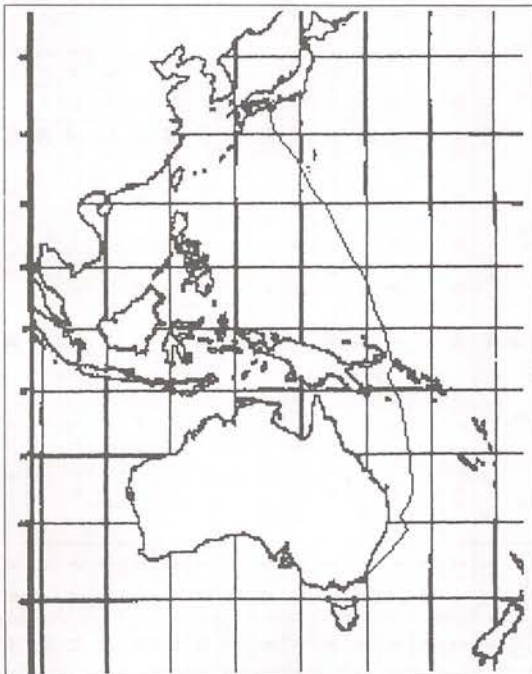


4月23日午前7時、早朝にもかかわらず多くの歓迎者が大阪新淀川河口の北港ヨットハーバーに集まった

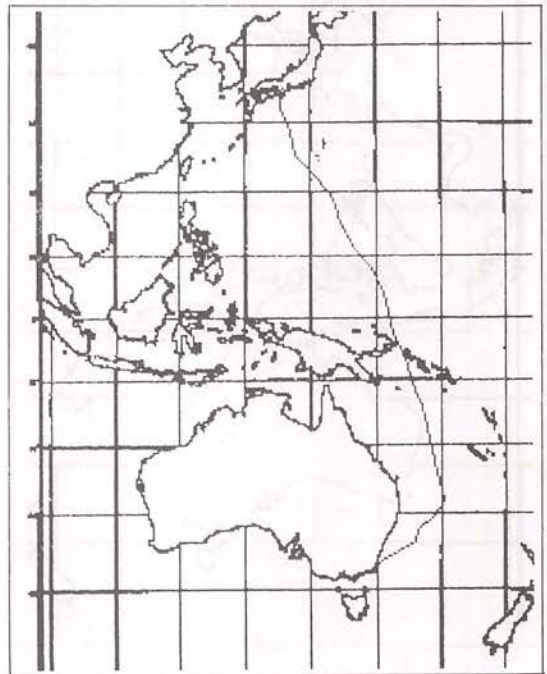


4月27日3時フィニッシュ、着順6位、クラスR-B  
1位の〈ギリビリー〉㊟

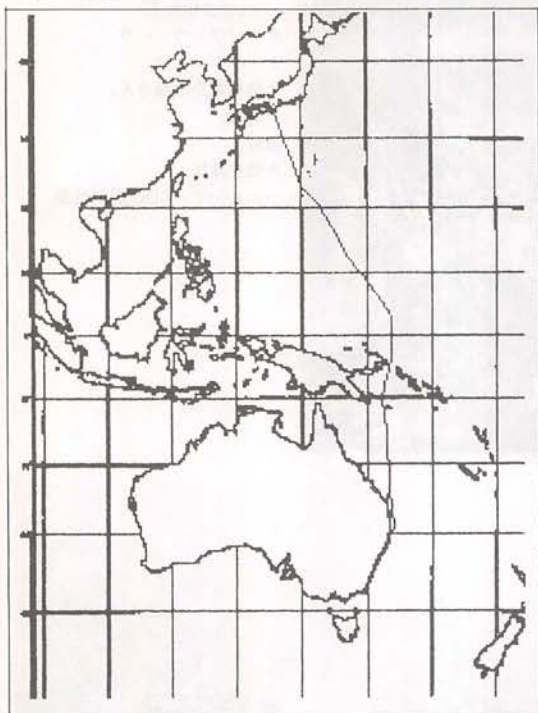
### SDC 波切大王



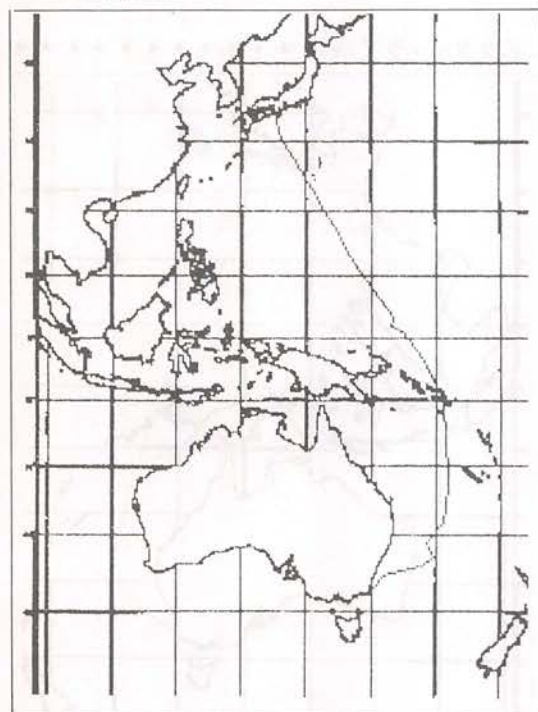
### ドクター・ライ



## アルスター



## ベンガルII



| 総合順位 | クラス順位 | 艇名           | エンタープライズ No. | スキッパー             | 共同スキッパー/クルー    | 国籍       | 艇の全長  | 設計者              | 係数   | 進水年  | フィニッシュ日時        | 所要日時          |
|------|-------|--------------|--------------|-------------------|----------------|----------|-------|------------------|------|------|-----------------|---------------|
| 1    | A-1   | SDC 波切大王     | 46           | ウーウィック・トンプキンス(54) | 大儀 見 薫(57)     | 日本       | 16.00 | ブルース・ワーカー&ボブ・スミス | 1.35 | 1987 | 4月23日 7時6分26秒   | 31日19時間6分26秒  |
| 2    | A-2   | ドクター・ライ      | 39           | 岡本 頼 治(40)        | 渡 真 利 紫(37)    | 日本       | 16.00 | 高 井 理            | 1.10 | 1986 | 4月24日 2時19分40秒  | 32日14時間19分40秒 |
| 3    | A-3   | アルスター        | 95           | アルビー・バーキン(71)     | グレン・グ・コーワン(29) | オーストラリア  | 15.90 | ジョー・アダムス         | 1.31 | 1985 | 4月25日 1時46分27秒  | 33日13時間46分27秒 |
| 5    | A-4   | ベンガルII       | 1            | 丹 羽 徳 子(50)       | 丹 羽 由 昌(50)    | 日本       | 16.00 | ヴァン・デ・ス・タット・大橋   | 1.20 | 1986 | 4月26日 10時20分6秒  | 34日22時間20分6秒  |
| 6    | A-5   | サー・アイザック     | 19           | ロッド・ホルト(52)       | ボブ・グー・デ・イ(44)  | アメリカ     | 14.87 | チャック・バーンズ        | 1.53 | 1984 | 4月26日 14時11分55秒 | 35日2時間1分55秒   |
| 4    | B-1   | キリビリー        | 52           | テイビッド・アダムス(33)    | テイビッド・ギディー(35) | オーストラリア  | 11.99 | ケン・スタインマン        | 1.56 | 1986 | 4月27日 3時52分7秒   | 35日18時間47分7秒  |
| 7    | A-6   | コーデン・オケラVIII | 7            | 斉 藤 茂 夫(44)       | 多 田 雄 幸(56)    | 日本       | 15.85 | 斉 藤 茂 夫          | 1.26 | 1986 | 4月27日 8時10分53秒  | 35日20時間10分53秒 |
| 8    | B-2   | クイックシルバー     | 82           | ボイド・スミス(25)       | ジョン・ハミルトン(26)  | オーストラリア  | 11.00 | ジム・ヤング           | 1.38 | 1985 | 4月28日 11時09分42秒 | 36日2時間9分42秒   |
| 9    | A-7   | スカーパー        | 61           | トニー・ウィック(42)      | アーノルド・ティクル(40) | ニュージーランド | 13.90 | ジョー・アダムス         | 1.38 | 1979 | 4月29日 5時51分3秒   | 37日17時間51分3秒  |
| 10   | C-1   | リヴォード        | 15           | ジョン・リガード(55)      | ヘザー・リガード(54)   | ニュージーランド | 13.50 | ジョン・リガード         | 13.5 | 1984 | 4月29日 13時50分27秒 | 38日1時間50分27秒  |
| 11   | A-8   | グンゼセグ        | 57           | 小 田 義 秀(41)       | 飯 田 義 輝(39)    | 日本       | 15.20 | ジョー・アダムス         | 1.37 | 1985 | 4月30日 7時1分37秒   | 38日19時間1分37秒  |
| 12   | B-3   | どんがめVIII     | 4            | 渡 辺 康 夫(37)       | 松 岡 剛(29)      | 日本       | 11.10 | 渡 辺 修 治          | 1.58 | 1986 | 5月1日 7時30分17秒   | 39日19時間30分17秒 |
| 13   | B-4   | セカンド・グランズ    | 74           | ピーター・ハンス(27)      | サイモン・ジュニグス(28) | ニュージーランド | 11.50 | ハンス/ウェスト         | 1.52 | 1984 | 5月1日 9時18分25秒   | 39日21時間18分25秒 |
| 14   | B-5   | ボヘミアン        | 73           | ティモシー・エドキンス(32)   | ロバート・ハリソン(33)  | オーストラリア  | 11.28 | デヴィッド・カーター       | 1.71 | 1974 | 5月2日 9時22分11秒   | 40日21時間22分11秒 |
| 15   | A-9   | シトカ          | 18           | ブレンダン・ハント(30)     | サイモン・ケレット(26)  | オーストラリア  | 15.00 | タスカ/スワーブリック      | 1.33 | 1969 | 5月2日 16時52分55秒  | 41日4時52分55秒   |
| 16   | B-6   | レネゲイド        | 49           | トレバー・スミス(51)      |                | ニュージーランド | 11.00 | ジョン・リガード         | 1.70 | 1968 | 5月3日 7時27分33秒   | 41日19時間27分33秒 |



## メルボルン—大阪 ダブルハンドヨットレース 〈SDC波切大王〉 ファーストフィニッシュ！ オーナーとクルー大いに語る

4月23日、雲ひとつなく晴れ上がった早朝、大阪市北港沖のフィニッシュエリアに、〈SDC波切大王〉はたゆたうように近付いてきた。頭上には7機ものヘリコプターがばたばた飛び、周囲には10数隻のプレスボートが群がるという、報道陣の一大包囲網にもみくちゃにされながら――。

だが、この〈SDC波切大王〉は、メルボルンでは必ずしも注目の的ではなかったようだ。われわれに届く下馬評でも、〈SDC波切大王〉はまったくの無印ではないにしろせいぜい△か▲止まりで、本命と対抗は圧倒的な勢いで他の艇だった。

勝負事はしょせん水物である。とくに何が起こるか判るわけがないオフショアのロングレースでは、その傾向が顕著なはずなのだが、にもかかわらず、今回の公式ガイドブックは特定のいわゆるハイテクのスーパーボートを大きく紹介して、報道メディアの関心もそこに集中していた。

それだけに〈SDC波切大王〉の勝利に至る過程はことのほか興味がわく。

あちこち引っ張り尻で超多忙の御三方に、幸運にも一堂でお会いできた。いささか時間に乏しかったのが残念だったけれども、骨子のコメントはいただいた。以下がそれである。なおインタビューには服部一良及び歌田道教が、同時通訳には林範子があたった。



野村信吾氏  
鹿児島県生まれ。東京学芸大中退。  
SDC 社長。42歳



ワーウィック・トンプキンスさん  
アメリカ生まれ。オレゴン州リード大卒。  
ヨットコンサルタント。55歳



大儀見薫氏  
スペイン生まれ。オレゴン州リード大卒。  
西武百貨店取締役。

### 検討に検討を重ねた企画

——この度はおめでとうございます。それに本日は大変貴重な時間をお揃いできていただけて、ありがとうございます。それで、いろいろなご感想を伺う前に、話の順序として、今回の素晴らしいイベントがどのような経過で生れたのか、ここを今一度、大儀見さんにお伺いしたいのですが。

大儀見 さかのぼると83年の大阪帆船パレードのときからで、第二弾として何かいいアイデアはないかと、港湾局の佐々木局長を中心に話をして、それがまとまった結果です。NORC としては、当初、すでに三回の実績のある太平洋横断シングルハンドの継続を考えたのですが、これはオリジナルではないところが問題となりました。その他 IOR がらみのフルスケールのレースも検討しましたが、最終的に大阪と姉妹都市関係にあるメルボルンからの太平洋南北縦断レースとし、それにコースの付近に島やリーフが多いことを考え、シングルハンドでは危険、ダブルハンドでやろうと、この基本構想は2年半ほど前に固まって、直ちに準備に入ったわけです。

実施要項づくりでまず念頭にしたのは、トランスアトランティックのように、大艦巨砲主義というのかともかくスポンサーの懐具合からして競合が始まるのは好ましくなく、健全な外洋ヨットの原点に戻るポリシーを明確にと考えました。それから南太平洋を遊弋してる数多いクルージングボートにも呼び掛け仲間に入ってもらおうと、レーシングボートクラスとクルージングクラスとの二本立てにして、さらに日本人の体格を考慮し、レーシングクラスをA、Bふたつに分けました。

このあたりの構想はいささか自画自賛になるのですが、いざフタを開けて、参加申込み97隻、最終エントリーは90隻という、20隻は何とかもしかしたら40隻ぐらいいはとの予想を大巾に越える参加艇数をみて、そのクラス別のエントリー状況も、レーシングA、26隻、レーシングB、同じく26隻、クルーザークラス、38隻と、まさに後から分けたようにびったりの、これ以上の時宜は得られないような、ともかく企画の概念が、圧倒的に支持されたといえて、この段階ですでにこの

レースは大成功したと感じました。

### 参加者側からみた企画の魅力度は

——どうも、ほんとにそうですね、そこでオーナーの野村さんにお伺いしたいのですが、この企画のどこに魅力を感じられたのか、参加を決意された動機は何なのかをお願いします。

野村 あの、常日頃、夢を実現させるには何よりも勇氣と想像力が大事だと、これは個人的にもまた仕事のうえからでも思い続けているのですが、たまたま、大儀見さんから今回の企画をきいて、これはまことに常に思っているテーマにぴったりだと感じたのがきっかけです。

大儀見さんはフィニッシュ後の記者会見で、ちょっぴりの勇氣さえあれば夢は単なる夢で終わらないとおっしゃったんですが、ここでいわれた勇氣ということのニュアンスははなはだ重要な、たとえば最近よく言われよく耳にもする、未成年の非行とかいじめの問題とかは、大人の世界の曲った部分がそのまま反映している気がしまして、これはただ叱るのではなく大人自体が希望をもって夢を抱くような行為を示せば、必ず何かは通じる、というような意味を含んでいると思うんです。

大儀見さんとの出会いのとき、コロンブスの500年記念のメインイベントとして、サンタマリア号を復元し日本へ持ってこようじゃないかという話をしたのですが、これを思い立った動機と今回のレースに参加した動機はまったく同じです。地球を相手に新大陸を発見しようという夢を描いてそれを実現させたコロンブスの勇氣と比べ、同じ地球的なスケールに取り組もうとの夢をもって、大洋にチャレンジする勇氣は、かなり似ているんじゃないかと、それで、ぜひともやりましょうと、このようなところがきっかけです。

——ありがとうございました。たいへん素晴らしいお話でうれしくなりました。あのトンプキンスさんには、実際のセーラーとして、企画全体のイメージをどう受け取ったか、そして参加の意志が固まるまでの過程をおきかせ下さい。

トンプキンス 85年、ニュージーランドにいたときにこのレースの企画を知り、翌年早々、アメリカに戻っ

たのですが、チャレンジしたい気持ちが次第につってきました。というのは、まずコースが魅力あふれるからです。南半球北半球それぞれの高緯度帯の天候の激しく変わるところ、赤道を挟む両サイドの貿易風帯、そして赤道付近の無風帯をも横断しなくてはならず、そのうえコースはリーフや島々を避けてなければならず、考えれば考えるほどチャレンジに価するレースだと思い募ったわけです。

———そうですか、判りました。ではそのコースをセーリングするのに、どのようなタイプの艇が望ましいとお考えになりましたか。

トンプキンス このレースに勝てるボートは、いろいろな面からの要求を満足させなくてはなりません。まず強風、中風、微風、それに風上航、風下航、いずれの場合でも得手不得手がないこと。もっともこれは理想に近く、実際にはないに等しいけれども。それから、大阪へ一番で着くには、やはり定められたルール一杯の大きさが必要で、もちろん重量のことも無視できない。それにダブルハンドというのを踏まえて、すべてのハンドリングが容易にできるように、配慮されてなければならない。これは何も大儀見さんや私がもう若くはなく、そのうえ怠者だから、できるだけ手抜きしたいと、そういうわけではありません。ハンドリングが難しければ、そこで必要以上の疲労が溜まり、その結果の、疲労が重なった故の判断の誤りを恐れるからです。これは大変に危険なことです。

———ありがとうございました。それからちょっと話が前後してしまっただんですが、今回のこのレースがダブルハンドというところにも何か特別の魅力をお感じになりましたか。

トンプキンス ひとりで海に出るということについて、個人的に特別な関心は持ってません。といっていつも大勢でいなくては淋しいというタイプでもありません。

今回のレースのマキシム16mサイズは、シングルハンドではとうてい無理です。大西洋横断シングルハンドなどには、たいへんな大きさの艇が出場していますが、あれは人の手が直接に手応えを感じ、人が操作するところを越えてしまっていて、ハードなメカニズムが勝手に生物のように動いてしまうという、まったく異質なものになってしまってます。この意味で、16mサイズの大きさはダブルハンドでギリギリの限界でしょう。それからたとえばクルーがもっと増えた場合、レースというものは、シーマンシップの確立とともにスピードを追求しなくてはならないという、常に背を向けるふたつの面を両立させなくてはならないのですが、クルーが増えればその余裕は当然にスピード追求の方向に費やされるはずで、そのときにシーマンシップがリスクを負う怖れが生れます。今回、ダブルハンドではなく、その倍の4名が乗ったケースを仮定すると、おそらく安全性は低下したと思います。

——なるほど、そうですか、そうすると今回のレースで、クルーはダブルハンド、艇の大きさは16mまでというスタンスは、きわめて妥当な設定だったのですね。

トンプキンス ええ、そう思います。

勝因のベースはどこに

———どうもありがとうございました。さてそろそろなんです、〈SDC 波切大王〉は何故に勝てたか、このところを卒直にお願いします。それぞれお立場が違うわけで、いろいろなことがお伺いできるかと思います。まず野村さんから、どうぞ。

野村 技術的なことなどはよく判らないのですが、結果からいえば、おふたりの非常に熟練した技術と長いキャリアが、まずは勝因だろうと思います。それからですね、メルボルンでのスタートのとき、ヘリコプターで艇を追ってたんですが、湾から外へでて、大きな波に揉まれだして、そのときのおふたりのキビキビした動作が、まるで少年のようで、なるほど海の男のロマンとはこれかと、それをすごく感じて、同時にこれならいけるんじゃないかと感じました。

まあ、先程の艇に関することなどにはとうてい話に入り込めないのですが、オーソドックスなオールラウンドの性格を持つ艇を選択されて、それを最後まで思いのまま操船されたおふたりの技術とキャリア、それに合わせ、おふたりに残る少年のような純粋な気概、というところが、この勝利を呼んだんじゃないかと思っています。

———ありがとうございました。次は大儀見さんに、ご自身で思い当たる勝因をどうぞ。

大儀見 第一は艇の選定が間違っていなかったことです。まずオールラウンドのタイプで、風が強かろうと弱かろうと、前からきても後からきても、それなりに平均したパフォーマンスが期待できて、事実そうだった。それからパフォーマンスだけではなく艇の強度にも何の不安も感じなかった、100%信頼できて安心して乗っていられたということ。このふたつの大前程条件が成立したのが大きな勝因だと思ってます。艇のパフォーマンスにも艇の強度にも自信が持てたからこそ、風がどちらから吹こうが波がどこからこようが、逃げる必要がなく、好きなコースを選択できたわけで、基本的な戦略はラムラインでいったわけですが、ラムラインを維持できたのも、艇がそれを可能にしたといえるでしょう。

それからばくの立場からいえば、この艇がよかったことの他に、ばくからみて、トンプキンスさんという世界有数のパートナーに恵まれたのが不可欠でした。———どうも、トンプキンスさんには、共同記者会見で述べられた、ヨットレースは、すでに準備の段階から始まる、如何に準備するかが問われる知的な競技だ、とのところから再度お願いしたいのですが、とくにこの場合の知的とは、実際に走っていて、たとえば艇の

ヘディングやセールの選択を考えることよりも、艇をどのようなポリシーで設計して、どのような装備をして、どのように造るか、こちらの陸の上での知恵の方が、むしろ大事だと、このように理解してよろしいのですか。

トンプキンス 強いていえば、50.25%が準備の段階、49.75%が実際のレースコースでとなるでしょう。周到な準備は絶対に必要ですが、コースにあってからでも、先程いわれたようなタクティクスの判断や、トラブルの処理など、経験から生まれた知恵は大変に重要です。どちらが大事かというのは、あまり意味がありません。

本来のシーマンシップとは、紡いを解いて出港するところから始まるわけではなく、準備の段階から船出、そして航海、フィニッシュと一貫した流れのそのプロセスの中に存在するものだと考えます。今回のレースで幾つかの艇がリタイアを余儀なくされていますが、これらの艇はシーマンシップの基本に沿って判断されるべきでしょう。

#### 次回への提言

——どうも、まったくもってありがとうございました。時間もオーバーしているので、最後になりますが、次回に参加を志すセーラーに、何か伝えることがありましたら、ぜひお願いします。

トンプキンス まずオールラウンドのコンディションで、パフォーマンスに弱点のない艇をと、ここから始めるのがよいでしょう。具体的には、全長が同じなら〈SDC 波切大王〉よりも、もう少し巾が狭い方がよいかもしれません。重量もあまり超軽量を狙わずに、われわれの艇よりも、あと10%ぐらい軽いあたりが妥当かと思います。それからもうひとつ、1日や2日、せいぜい1週間、ではない長期に渡って航海を続けなくてはならないのですから、ライフアットシー、艇内の居住空間への余裕がある配慮も非常に大切です。必要最小限で大丈夫という考えは、あまりいただけません。この点に関しても〈SDC 波切大王〉は成功したと考えます。

——判りました。続いて大儀見さんどうぞ。

大儀見 このレースのコースからみて、そもそもの企画の意図に、勝つためには手段を選ばずというような、スピード追求のためにはシーワージネスなどのシーマンシップの基幹をミニマムに押えるのも厭わないというような、そういう思想を排する狙いを持ったのですが、この点で、外洋ヨットの原点をつらぬいたオーソドックスなわれわれの艇が勝ったことに、自分たちの勝利は別にして、非常に嬉しく思っています。ここをよく知って欲しいと思います。

トンプキンス 一部に誤報が流れているようなので、いっておきますが、われわれの艇はこのレースに向けて特別にデザインされたものではなく、クルーザーレーサーというベーシックなデザインがあって、それ

にダブルハンドでハンドリングができるようにと様々な工夫を加えたに過ぎません。決して特殊な艇ではなくベースはごくふつうの健全な外洋ヨットです。あえて特長を探していえば、GRP 素材による舟艇製作技術では世界のトップクラスと目されるニュージーランドの、その中のさらにトップクラスといわれる造船所で、さらにそのうえ、秀れた職人がうちの代表作というほどの出来映えで〈SDC 波切大王〉が造られたことでしょう。

——なるほど、そうなのですか、いやおどろきました。あの、せっかくトンプキンスの奥様がいらっしゃるので、おたずねしたいのですが、日本では数ヶ月に及ぶ休暇など、特殊な環境とか特別の事情でもないかぎり、ごくふつうのサラリーマンには思うだけでも許されないのが実態なのですけれども、イコールする形で家庭の単位でも認知されるには至ってない感じです。月並みの質問で失礼にあたるかもしれないのですが、心配はされなかったかどうか、そのあたりの周辺をおきかせ願いたいのですが。

トンプキンス夫人 29年間、結婚してからこれだけの月日が過ぎてますが、その2年前に南太平洋で始めて彼と出会ったとき、すでに彼はセーラーでしたから、以後結婚したからといって別に変わりはありません。理解しています。

——そうですか、感激します。ありがとうございました。予定の時間をとくに過ぎてしまい申しけませんが、最後に野村さんへ、次回もチャレンジされるかどうか、おききたいのですが、

野村 そうですね、そのときはまた、ぜひと、思います。

——どうも、まだまだおたずねしたいことが沢山あって残念なのですが、本日はこのへんで、皆様、お忙し中、ほんとうにありがとうございました。

#### 付 記

服部一良

それにしても〈SDC 波切大王〉のフィニッシュ前後、そこへ群がった報道陣のスケールは、まさしく陣と呼ぶのがふさわしく、たいへんな勢いだった。われわれは04:00頃、北港のハーバーにおもむいたが、クラブハウスを覗いてびっくり。その数、100人は優に超え、おそらく200人近い報道メディア関係者が占拠していた。

風の吹き模様とともにコンピュータによるフィニッシュ予測時刻も刻々と遅れて、22日夕刻、まだ明るいうちの可能性もある、というのが、夕刻遅く、真夜中ちよい過ぎ、そして夜明け前、明けてからと、ともかく情報はめまぐるしくかわった。そのせいか、それとも万が一の神風を捉えて一気のフィニッシュをも逃さない、職業意識からなのか、それらの圧倒的多数の関係者は待ちくたびれた有様ありありの、徹夜組と思わ

れ、部屋の片すみには背中を丸めてのゴロ寝も相当数見受けられるという、われわれとしては反響のすごいのを喜ばなくてはならないのだが、それを忘れてしまうほど、はなはだしく尋常でない雰囲気だった。

そして、ゴーサインがでたあとの報道陣の行動は、冒頭のリードで述べたとおりに、空からは7機のヘリコプター、洋上からは10数隻の舟艇でもって、ターゲットに迫ったのである。

その結果はもういうまでもなく、大阪地区の新聞では各社夕刊1面のトップ記事を飾ったのを筆頭に、全国紙各社トータルおそく2000万部以上の部数の新聞に掲載され、日本全国に散った。テレビでももちろん、NHK ネットワーク、及び民放各社ネットワークを通じて、全国余すところなく放映されたはずである。

かくして〈SDC 波切大王〉の名は津々浦々にとどろき、野村さん、トンプキンスさん、大儀見さんは、一躍、ときのひととしてクローズアップされ、とりわけわれらの大儀見さんは、生半可ではまぶしくて近寄るのも困難な、スーパースターと果てた。

事実、われわれが現地地、大儀見さんと、どうにか言葉が交わせる距離まで接近するのに、フィニッシュ後、およそ13時間の時間を経なければならなかった。

もう25年も前、〈マーメイド〉のシングルハンド太平洋横断のときも日本中が沸いた。マスコミの連日に渡る大々的な報道だけでなく、やがてルポルタージュ形式の単行本も出版され、さらにその映画化も計られた。

だがこの快挙も、セーリングボートは海岸や湖の風物詩以外に、ひとつの夢を乗せて、大洋を渡れるポテンシャルを秘めるということを、広く知らしめたところに、計りしれない貢献があったものの、セーリングの魅力を一般の市民生活に馴染ませるまでには至らなかった。結局は、一大冒険の成功物語として、ひとりのスーパースターを生んだ、それも一過性のさわぎで終わった気がしないでもない。

今回、硫黄島の自衛隊の基地まで借りて社有の小型ジェット機を飛ばし、艇影のショットの一番乗りを争った全国紙の新聞社。また微風の中のセーリングにまったくの理解を示さず、メチャクチャな取材合戦を

延々と続けた報道陣。そして、ハーバーの岸壁につめかけた歓迎陣の内訳は、およそ半数が報道関係者、残りの半分が直接間接のレース関係者、その他がやっと純粋な一般市民の出迎えだったような、まだ喜べないバランス。それにフィニッシュエリアに現われたマストの立つ艇は、ウィークデイの早朝という悪条件もさりながら10隻前後のようだった淋しさ。などなど合せて考えてみると、今回もまたセーリングボートの社会的地位向上には直結せずに、過熱気味の報道メディアが演出した、熟年アイドル誕生物語で終わってしまう危険がある。

何しろ、25年ぶりにともかくマスコミは燃えてくれたのである。良くても悪くても人の噂は75日、に流されてしまうのをただ眺めていてよいものなのかどうか。ものすごくもったいない気がしてならない。

もっとも、少し冷静に考えれば、自分がセーリングボートが好きだからといっても、これはまったく個人的な事柄に過ぎない。だからその対象の社会的地位向上のために、同好の世界から、たまさか生れた英雄の、その榮譽のおこぼれがうまく使えないからといって、ヤキモチするのは虫がよすぎるかもしれない。シングルハンドでもダブルハンドでも、セーリングに夢中になっている瞬間のひとの行為は、純粋に私的なものであるはずで、もし使命があったとしても、自分の誇りのために違いないのだ。不特定多数の利益などは、違う次元の結果論に過ぎない、と思う。

ただし、甘えを承知でいえば、大儀見さんは一匹狼のセーラーではない。NORCの副会長でもある。セーラーとして勝利を得た今、これからの陸上でのさらなる健闘を期待したい。

### 《表紙のこぼし》

フィニッシュまであと250マイル  
快走を続ける〈SDC 波切大王〉  
4月21日1445 30-29N 135-35Eの洋上にて  
毎日新聞社機 明星号から  
撮影 国平雅宏

## 関東支部会員の皆様へ

関東支部副支部長 清田 博・安岡信一

今回のダブルハンドレースの関東より出場された方々の壮挙を讃え、その方々のお話を聞きながら共に語る宴を持ちたいと思います。

つきましては下記に於て開催いたしますので多くの方の出席をお願いいたします。

| 艇名      | 乗員名                |
|---------|--------------------|
| コーデンオケラ | 斉藤茂夫 多田雄幸          |
| SDC波切大王 | 大儀見薫 ワーウィック・トンプキンス |
| オイドン    | 藤田弘治 矢嶋 滋          |
| どんがめ    | 渡辺康夫 松浦 剛          |
| ズー      | 坂田重樹 中川英子          |
| つばくろ    | 幸村至峻 岡田敏久          |

## 記

## 関東支部ダブルハンド出場者を囲む会

日 時：昭和62年 6月 6日17時より20時迄  
 場 所：虎の門 あさ川 ☎580-7749  
 会 費：2,000円  
 参加申し込み方法：電話にてお名前、人数を事務局迄

お知らせ下さい。

事務局 ☎03-504-1911

## ※関東支部フリート対抗表彰式のお知らせ

フリート対抗レース委員長 小沢美弘

関東支部フリート対抗表彰式を下記要項にて行います。

日時：昭和62年 6月 6日(土)20時より

場所：虎の門 あさ川 ☎580-7749

## ※ミキモトジャパンカップ

## 仮エントリー受付のお知らせ

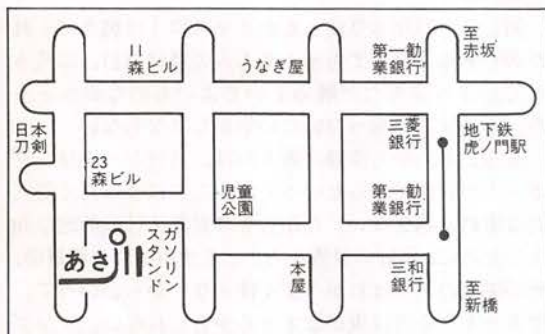
ミキモトカップ実行委員長 清水栄太郎

9月12日より開催のミキモトカップの仮エントリーの申し込みをお願い致します。

今年は去年よりも開催日が1月はやくになりました。  
 充実したプログラム作成の為に参加を予定されている  
 艇の御協力をお願いいたします。

## ☆申し込み方法および用意して載く物

- 仮エントリー申し込み金 1万円
  - 艇の写真 乗員の写真(全員が望ましい)
  - 設計者名 艇のプロフィール
  - 申し込み締切日(仮エントリー) 昭和62年 6月30日
- 以 上



## NORC計測委員会より

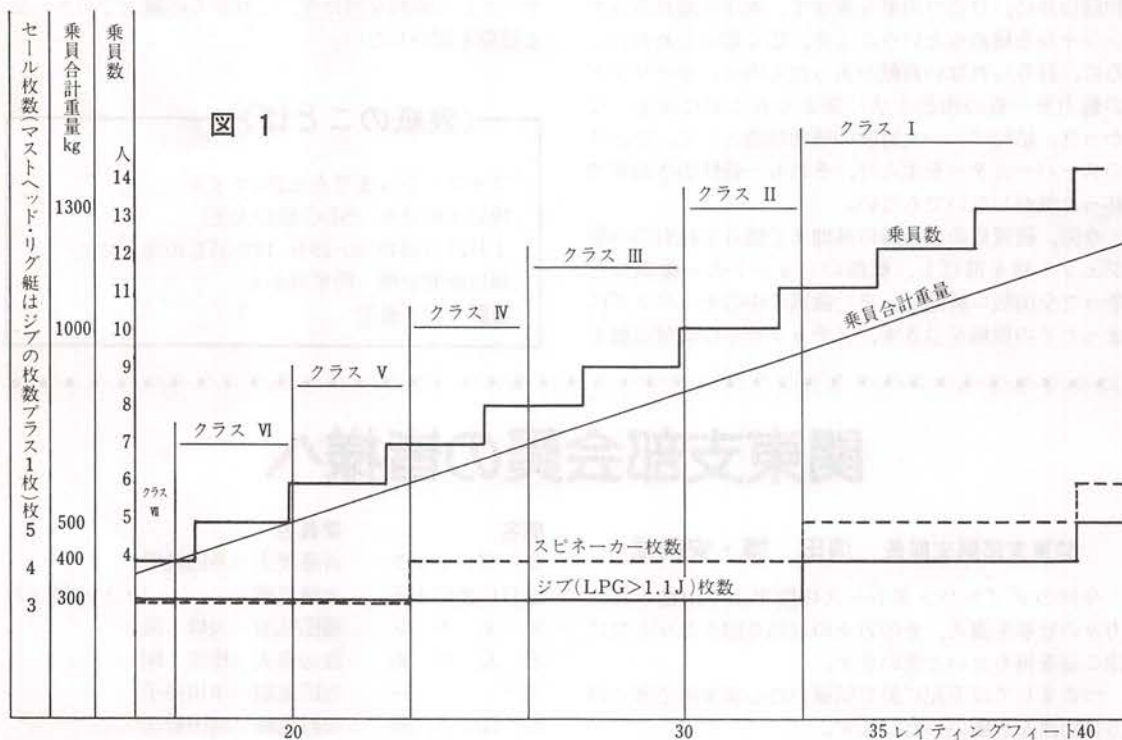
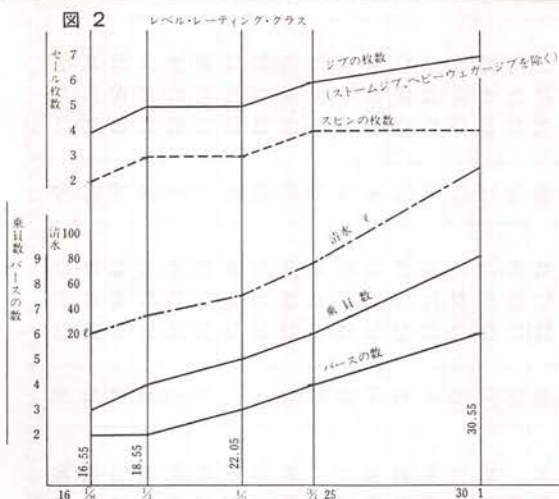


図2



今年度の IOR 変更点のうち、直接的な大きな変更は、セール枚数制限と、クルー人数制限（変更なし）の他に、女性や子供達の積極的な参加を目的とした、合計重量による制限が加ったことです。これを図示したものが図1です。

図2は、レベル・レーティング・クラスのためのセール枚数制限（LPGが1.1J以下のものを含む）清水容量、クルー人数、バースの数などの規定（グループック）を図示したものです。

87年度セール計測員は右記の通りです。新しいセールを作られ、レースを行なう艇は、セールメジャラーと連絡をとり、ORC スタンプ上に計測値及びサインを入れてもらって下さい。ジブに関しては、リミット

内収めてあれば、レーティングは上がることはありませんが、メインセールガンズ（MGU, MGM）は数値によってレーティングが変化します。新しいメインセールを製作した場合、再計測になりますので、NORC 本部へ再計測料16,000円をお支払いいただければ、データ入取後、速やかに新しいレーティング証書を郵送いたしますので、よろしくお願いいたします。

### '87年度公認セールメジャラー名簿

| メジャラーズ<br>ナンバー | 氏 名   | 所 属         | T E L        |
|----------------|-------|-------------|--------------|
| SM-001         | 長谷川 淳 | 油壺セール       | 0468-82-0141 |
| SM-002         | 三船 清治 | ダイヤモンドセール   | 078-734-1124 |
| SM-003         | 戸叶 幹男 | サブスタットセール   | 0468-82-4319 |
| SM-004         | 戸谷 寿男 | フッドセールメーカーズ | 0468-57-2333 |
| SM-005         | 所 和秀  |             | 0468-56-9297 |
| SM-006         | 吉川 隆三 | ダイヤモンドセール   | 0468-44-6777 |
| SM-007         | 山田 裕治 | ダイヤモンドセール   | 0468-44-6777 |
| SM-008         | 前田 利一 | ドイルセールメーカーズ | 0468-57-3022 |
| SM-009         | 高橋 良寿 | ウルマーセイルズ    | 0468-57-2656 |
| SM-010         | 河本 義夫 | ノット         | 0798-33-1161 |
| SM-011         | 亀田 豊  | フッドセールメーカーズ | 0468-57-2333 |
| SM-012         | 庄崎 義雄 | キングセール      | 0798-26-0409 |
| SM-013         | 石川 信和 | ショアーセール     | 05616-2-5850 |
| SM-014         | 五十嵐研司 | 油壺セール       | 0468-82-0141 |
| SM-015         | 川島 正通 | ノースセール      | 0468-57-1262 |

## SSBM スプリングレガッタ

4月19日(日)快晴 南5～6M、葉山マリーナ沖ショート三角コースで、出艇数36艇（イタリア1艇）によって11時スタート。最終ゴール艇は14時29分58秒であった。当日は10時30分頃やっと南に変わり、気をもたせたが、各艇きれいにスタート。第一マークの佐島から第二マークの江の島沖を時計まわりで葉山沖にゴールした。

'87最初のレースという事もあって、ひさびさのミーティングに盛り上りを見せた。特に東京湾からは遠路はるばる、前日より6艇が参加、本当にゴクローサン。初参加は江の島より〈MILOS〉、小壺マリーナより〈オリブII〉、逗子渚からはWE21の〈なし〉で藤山さんが参加。マリンポートコーチャからは、旧ハヤマエキスプレスの〈舳斗雲〉（キントウン）で荒木さんが参加。〈ドラヘン〉はY-21 JOGより、レプトンにチェンジ、〈FINLANDIA〉はキャナル23よりY-24にチェ

ンジしたが、当日は本部艇。ニューセールで参加が〈あい〉〈ベラミ〉〈ダイヤモンドエンジェル〉〈美少女〉（ミヤラビ）は念願のバリバリと音のするニューセールにチェンジ成功したが、MRSはそのままであった。〈まれし〉は木村太郎氏が11月に葉山マリーナで開催予定の“ニッポンカップ”の準備のために参加出来ず後からパーティに参加。もし本人が乗っていれば、さらに上位進出したかどうかは和子艇長の胸の内。おなじみ菅原さんは〈エスカイヤー〉でいつもの通りマイベースのシングルハンドでシングルの9位であった。

今回は6月7日(日)東京湾にて横須賀沖ロングコースを予定している。

運営艇のヤマハ神戸さん、関自工小川さんありがとうございます。

SSBM 葉山フリート 〈FINLANDIA II〉

葉山マリーナ Y.C. 藤島 幹部

## S.S.B.M.出艇リスト

| No. | 艇名             | 艇種              | 艇長名   | フ リ ー ト     | セーラNo.  | 着 | ①マーク       | 着 | ②マーク       | 着 | フィニッシュ     |
|-----|----------------|-----------------|-------|-------------|---------|---|------------|---|------------|---|------------|
| 2   | 異邦人            | Y-21 JOG        | 小山 祐  | 京急油壺マリーナ    |         | ⑮ | 11:52' 49" | ⑬ | 12:46' 34" | ⑭ | 13:34' 33" |
| 3   | 光風 (Ko-Fu)     | Y-22            | 相馬 敬  | BANYU Y.C.  |         | ② | 12:05' 25" | ② | 13:05' 00" | ② | 13:55' 10" |
| 4   | J a m          | リュンD X          | 年友 達夫 | 葉山マリーナ      |         |   | ※          | ③ | 13:12' 00" | ③ | 14:10' 12" |
| 5   | CORAL SPLASH   | Y-24            | 下江 浩  | 芦名マリーナ      |         | ① | 11:41' 35" | ① | 12:32' 24" | ① | 13:14' 59" |
| 6   | Drachen (ドラヘン) | レプトン21 JOG      | 龍 誠之助 | 京急油壺マリーナ    | 3 6 3 3 | ② | 11:55' 40" | ③ | 12:51' 30" | ③ | 13:40' 13" |
| 7   | 啓 II           | Y-24 CEX        | 湯田 啓二 | 逗子マリーナ      |         | ⑬ | 11:53' 12" | ⑦ | 12:51' 00" | ⑬ | 13:35' 45" |
| 8   | GAVIOTA        | Y-21 R&C        | 宇田川淳一 | 京急油壺マリーナ    |         | ⑨ | 11:55' 35" | ⑬ | 12:49' 52" | ⑬ | 13:32' 55" |
| 9   | BABY STORM     | Y-21 CEX        | 清水 晃  | 京急油壺マリーナ    | 3 6 9 8 | ⑭ | 11:52' 14" | ② | 12:53' 18" | ② | 13:43' 09" |
| 10  | X ビ ウ ス        | Y-24            | 金子 英明 | 京急油壺マリーナ    |         | ② | 12:07' 30" | ② | 13:10' 50" | ② | 13:59' 39" |
| 11  | ESMERALDA      | Y-21 JOG        | 藤井 孝  | 葉山マリーナ      |         | ② | 11:58' 14" | ② | 12:57' 34" | ② | 13:46' 31" |
| 12  | 那 由 多          | べ ラ 24          | 有木 徹  | 京急油壺マリーナ    | 2 0 3 4 | ③ | 12:00' 30" | ② | 12:59' 38" | ② | 13:47' 58" |
| 14  | そよかぜ V         | YA-23           | 古川 三郎 | 金 沢 八 景     | 3 4 8 0 | ⑧ | 11:48' 16" | ⑦ | 12:37' 11" | ⑦ | 13:17' 17" |
| 15  | SPRING SEA     | レプトン 21         | 伊達 博  | 江 の 島       |         | ② | 12:03' 10" | ② | 13:09' 58" | ③ | 14:07' 17" |
| 16  | KUN KUN        | J-19            | 石塚 和雄 | 横浜 富岡       | 8 8     |   |            |   |            | ⑤ | R E T      |
| 17  | 秋 桜 (コスモス)     | Y-21            | 岡本 秀雄 | 横浜 富岡       | 1 7 1 4 | ③ | 12:10' 46" | ③ | 13:27' 42" | ③ | 14:29' 58" |
| 18  | 舳斗雲 (ギンツウウン)   | Y-21 S          | 荒木 俊彦 | マリンポートコートチャ | 3 6 5 7 | ③ | 11:43' 41" | ④ | 12:34' 20" | ② | 13:15' 29" |
| 19  | 美童女 (ミヤラビ)     | Ranger23 ニューセーラ | 小堀真理子 | シーボニア       | 1 2 6 3 | ④ | 12:01' 02" | ② | 12:56' 22" | ② | 13:41' 13" |
| 20  | CHECK MATE II  | BLUE WATAE II   | 大津 武雄 | 横浜 富岡       |         | ③ | 12:11' 30" | ③ | 13:28' 12" | ③ | 14:19' 45" |
| 21  | シンバイナイ         | コロンビア 22        | 在原 進  | 江 の 島       | 1 1 5 9 | ⑤ | 12:02' 40" | ② | 13:07' 24" | ③ | 14:02' 12" |
| 22  | な し            | WE 21           | 藤山 武義 | 逗 子         | WE 2 1  |   | ※          | ② | 13:25' 39" | ② | 14:12' 29" |
| 23  | あ い い          | Y-21 S ニューセーラ   | 村木 裕  | 葉山マリーナ      | 3 6 5 9 | ④ | 11:44' 15" | ⑤ | 12:35' 34" | ⑦ | 13:18' 12" |
| 24  | ま れ し          | K-21            | 木村 和子 | 葉山マリーナ      | 3 5 1 7 | ⑧ | 11:55' 31" | ⑨ | 12:52' 26" | ⑦ | 13:35' 48" |
| 25  | AMISTAD        | エクナドメール         | 関谷 純  | 葉山マリーナ      | 2 5 3 4 | ⑥ | 11:46' 00" | ⑧ | 12:37' 42" | ⑧ | 13:19' 45" |
| 26  | オリープ II ④      | Y-21 S          | 前田 恒次 | 小壺マリーナ      |         | ⑦ | 12:03' 20" | ② | 12:59' 54" | ② | 13:50' 45" |
| 27  | ビーナッツ          | Y-23            | 子上 一夫 | 葉山マリーナ      |         | ⑦ | 11:48' 00" | ⑥ | 12:36' 33" | ④ | 13:16' 01" |
| 28  | ペ ラ ミ          | Y-21 C ニューセーラ   | 藤原    | 横浜マリーナ      |         | ⑦ | 11:55' 21" | ② | 12:52' 50" | ② | 13:46' 06" |
| 29  | サンパーン          | リュンDメ550        | 土橋 昭夫 | 馬 入 川       |         |   | ※          | ③ | 13:16' 30" | ② | 14:01' 49" |
| 30  | 朝 涼            | YA-21 S         | 中村 知行 | Y. M        |         | ⑪ | 11:50' 08" | ⑫ | 12:44' 30" | ⑫ | 13:32' 29" |
| 31  | MISTY III      | LEPTON          | 青柳慎一  | 八 景         |         | ⑨ | 11:48' 30" | ⑨ | 12:41' 03" | ⑩ | 13:21' 30" |
| 32  | SUI-SUI        | 林-19            | 松崎 孝男 |             |         | ② | 11:42' 56" | ③ | 12:34' 04" | ⑤ | 13:16' 43" |
| 33  | ESQUIRE        |                 | 菅原    |             | J 1 5   | ⑫ | 11:50' 49" | ⑩ | 12:42' 04" | ⑨ | 13:21' 30" |
| 34  | BLUE-PULSAR    | 林-19            | 黒田 高正 |             |         | ⑤ | 11:48' 30" | ② | 12:33' 59" | ③ | 13:15' 44" |
| 35  | DIAMOND ANGEL  | 林-19 ニューセーラ     | 松谷 克己 |             | 3 1 0 2 | ⑩ | 11:49' 25" | ⑪ | 12:43' 15" | ⑪ | 13:24' 25" |
| 36  | LUCY           | YA-21 C         | 京谷 弘也 |             |         | ⑬ | 11:51' 27" | ④ | 12:48' 43" | ⑬ | 13:36' 10" |
| 37  | MILOS          |                 | 平田 義裕 |             |         | ② | 12:12' 23" | ③ | 13:30' 45" | ③ | 14:25' 34" |
| 38  | T E N          | YA-21 C         |       |             |         | ② | 11:58' 30" | ⑥ | 12:50' 12" | ⑬ | 13:34' 52" |

※は大変申し訳ありませんがチェックもれです。失礼しました。

## 62年度 初島卯月レース成績表

スタート時刻 ¼ 11:00

帆走委員長 中川敏彦

| クラス<br>順位 | セーラー番号 | 艇名                | 初島廻航  | 到着時間           | TCF/TMF                                 | 修正時間          | 総合<br>順位 |
|-----------|--------|-------------------|-------|----------------|-----------------------------------------|---------------|----------|
| 8         | 2112   | FUJI III          | 15:29 | 20:48' 43"     | 0.8682                                  | 30.667 (8)③②  | 32       |
| 1         | 188    | CONTESSA VIII     | 15:22 | 10:59' 36"     | 0.8294                                  | 26.853 (1)①   | 1        |
| 6         | 3335   | ORIHIME II        | 15:40 | 20:59' 05"     | 0.8209                                  | 29.507 (6)②⑥  | 26       |
| 5         | 3355   | YUKIKAZE V        | 15:30 | 21:00' 03"     | 0.8128                                  | 29.263 (5)②①  | 21       |
| 7         | 3410   | ZERO II           | 15:27 | 21:06' 01"     | 0.8209                                  | 29.849 (7)②⑨  | 29       |
| 4         | 3519   | LAVIEEN ROSE      | 15:30 | 21:01' 57"     | 0.8095                                  | 29.237 (4)①⑨  | 19       |
| 2         | 3544   | BLUE NOTE         | 15:20 | 20:15' 13"     | 0.8205                                  | 27.333 (2)③   | 3        |
| 9         | 2611   | MAPLE             |       | 21:44' 07"     | 0.8075                                  | 31.207 (9)③③  | 33       |
| 3         | 3001   | HALF TIME         | 15:34 | 20:59' 41"     | 0.7703                                  | 27.716 (3)④   | 4        |
| 8         | 386    | MORE JOY CINQ     | 15:54 | 21:48' 33"     | 0.767                                   | 29.846 (8)②⑧  | 28       |
| 4         | 2182   | KELONIA           | 15:50 | 21:48' 46"     | 0.7519                                  | 29.268 (4)②②  | 22       |
| 1         | 2002   | SYLPHIDES         | 17:15 | 21:47' 58"     | 0.7396                                  | 28.754 (1)①⑩  | DSQ      |
| 7         | 2039   | SOUJI             | 16:00 | 22:08' 49"     | 0.7420                                  | 29.776 (7)②⑦  | 27       |
| 6         | 3044   | MRS. MEDAUSAE     | 15:35 | 21:53' 24"     | 0.7513                                  | 29.454 (6)②⑤  | 25       |
| 5         | 3290   | KAITAROH III      | 15:54 | 21:46' 08"     | 0.7552                                  | 29.278 (5)②③  | 23       |
| 3         | 3551   | BIG SHOT          | 16:00 | 21:51' 25"     | 0.7434                                  | 29.056 (3)①⑧  | 18       |
| 1         | 3575   | KAGUYAHIME        | 15:54 | 21:50' 17"     | 0.7417                                  | 28.939 (1)①④  | 14       |
| 2         | 3530   | SUMMER KNOWN      | 15:48 | 21:37' 32"     | 0.7575                                  | 28.976 (2)①⑦  | 17       |
| 12        | 2677   | GREAT PEOPLE      | 15:48 | 21:55' 06"     | 0.7370                                  | 28.969 (12)①⑥ | 16       |
| 8         | 2970   | POINCIANA II      | 15:59 | 22:05' 36"     | 0.7209                                  | 28.790 (8)①①  | 11       |
| 7         | 2979   | SEA CROWN III     | なし    | 21:49' 33"     | 0.7385                                  | 28.782 (7)①⑩  | 10       |
| 13        | 3088   | BUNBLE BEE        | 15:30 | 22:04' 46"     | 0.7331                                  | 29.240 (13)②⑩ | 20       |
|           | 3236   | NEFUNOREO         | RET   | 20:00葉山(23:05) | 0.7318                                  |               |          |
| 9         | 3306   | RIPPLE II         | 15:37 | 21:55' 00"     | 0.7327                                  | 28.795 (9)①②  | 12       |
| 4         | 3333   | TABATHA           | 15:30 | 21:49' 53"     | 0.7337                                  | 28.609 (4)⑦   | 7        |
| 14        | 2387   | BASIC             | 16:05 | 22:14' 06"     | 0.7247                                  | 29.311 (14)②④ | 24       |
| 10        | 3414   | OTSHOSAN          | 15:48 | 21:49' 45"     | 0.7389                                  | 28.806 (10)①③ | 13       |
| 6         | 3485   | ISIS              | 15:50 | 21:52' 38"     | 0.7341                                  | 28.746 (6)⑥⑨  | 9        |
| 11        | 3494   | ARC・EN・CIEL       | 15:50 | 21:55' 55"     | 0.7360                                  | 28.965 (11)①⑤ | 15       |
| 15        | 3551   | FIN MARSHUR       | 15:50 | 22:20' 12"     | 0.7368                                  | 30.070 (15)③⑩ | 30       |
| 16        | 3558   | MEY BE            | 15:56 | 22:26' 36"     | 0.7363                                  | 30.333 (16)③① | 31       |
| 3         | 3510   | TRACER            | 15:55 | 21:47' 55"     | 0.7311                                  | 28.422 (3)③⑥  | 6        |
| 5         | 3670   | SAIKEN            | 15:55 | 21:51' 15"     | 0.7347                                  | 28.708 (5)⑤⑧  | 8        |
| 2         | 2219   | PEGASUS           | 16:09 | 22:14' 01"     | 0.6958                                  | 28.139 (2)②⑤  | 5        |
| 1         | 3571   | CROW              | 16:05 | 21:50' 20"     | 0.6961                                  | 27.162 (1)②   | 2        |
| 2         | 3693   | DEKU BRIGHT       | 15:35 | 21:52' 44"     | 8.30m(573 <sup>S</sup> / <sub>M</sub> ) | 11.660        |          |
| 4         | 3305   | FLYING TINKERBELL | —     | 22:45' 17"     | 6.75m(622 <sup>S</sup> / <sub>M</sub> ) | 12.461        |          |
| 3         | 2234   | TOHRI III         | 17:40 | 22:37' 08"     | 6.60m(628 <sup>S</sup> / <sub>M</sub> ) | 11.684        |          |
| 1         | 3531   | カゲロー              | —     | 21:49' 02"     | 7.50m(596 <sup>S</sup> / <sub>M</sub> ) | 10.334        |          |

# Some Time YACHT FESTIVAL BIWAKO

## 第7回琵琶湖クルーザーフェスティバル

日 程/1987年 5月24日(日)

スタート 11:00

表彰レセプション 17:00~

コース/名鉄マリーナ沖~におの浜~際川沖

適用規則/1985~88年 IYRU 競技規則及び大会帆船指示書

安全規則/船舶安全法に基づく検査済みの艇に限ります。

参加資格/①全長19ft以上のキャビン付きセーリングクルーザーで、アマチュアが所有し、艇名と3桁および4桁のセールナンバーを有する艇。  
②ヨット関係の販売・製造に携わる方はレースに参加できません。

責任所在/ヨットレースの国際慣例に基づき、レース艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かなどの決定は、各艇の責任で行うもので、レースの主催・運営者は、参加者及び艇体の傷害、損害に対して一切責任を負いません。

乗員規定/上記に基づき特に規定しません。

順位規定/クラス別修正順

実行委員会の定めたレーティングを適用します。

クラス/クラスⅠレーティング 20.1f以上  
クラスⅡ 18.1f以上  
クラスⅢ 17.1f以上  
クラスⅣ 16.1f以上  
クラスZ 16.0f以下

(オールドヨット・ケッチ・モーターセラーなど)

参加料/1艇につき 5,000円

1人につき 1,000円

申込締切/所定の申込書に現金をそえて、5月10日(日)17時までにお申込みください。

申込み先/サムタイムヨットフェスティバル実行委員会

帆船指示書の交付/各艇の泊地にて交付します。

### ☆注意

- 艇名は艇体に記されている書体(アルファベット・漢字・仮名等)の通り記入のこと。
- 中古艇を購入の方は旧艇名も明記のこと。
- 標準仕様(セイルも含む)を改造した艇は必要事項を明記のこと。
- 改造艇が申告しなかった場合は失格となることがあります。
- 参加料は、申込み後に不参加となった場合でもこれを返却しません。

## 表彰レセプション

日 時/5月24日(日)17:00~19:00

会 場/琵琶湖ホテル...ガーデン

内 容/第7回琵琶湖クルーザーフェスティバルの成績発表と表彰

受 付/同クルーザーフェスの参加者のみ受付。  
ゼッケンと交換でパーティ券と参加賞を呈します。

### ■表 彰

- サムタイムカップ...クラス1位の艇
- サムタイム賞...実行委員会がふさわしいと認めた艇
- クラス優勝...各クラス優勝の艇  
クラスⅠ 日本たばこ産業株式会社杯  
クラスⅡ 琵琶湖汽船杯  
クラスⅢ ヤマハ杯  
クラスⅣ 裕次郎杯  
クラスZ 日産杯
- クラス2~3位...トロフィー
- ゴールド賞...船齢の最高艇
- シルバー賞...平均年齢の最高艇
- 3代賞...親子3代チーム
- 遠来賞...最も遠くから参加した艇
- ファミリー賞...ファミリーチーム
- レディス賞...レディス1位
- ベストユニフォーム賞...ユニフォームのユニークな艇
- 参加賞...参加者全員

その他各賞設定

〈申込み・問合せ ☎0775-24-1781〉

サムタイムヨットフェスティバル実行委員会  
〒520 大津市柳が崎1-2 滋賀県ヨットハーバー

## 観覧船ミシガン

乗 船 艇/ミシガン(琵琶湖汽船) 787人乗

日 時/5月24日(日)10:00~14:00

乗船場所/琵琶湖汽船「浜大津」

または「琵琶湖ホテル」

定 員/560人(定員になり次第締切り。)

参 加 料/1人 2,000円(小学生以上)

記念Tシャツ付

内 容/クルーザーフェスのレースを観覧

(ゲストを交えた解説と楽しいおしゃべり)

申 込 み/5月10日(日)17時までに下記へ電話予約の上、銀行振込にて参加料をお支払いください。(振込用紙の通信欄に「ミシガン」及び、申込み人数、代表者氏名・電話番号を明記)

のこと。) 追ってチケットを郵送します。

振込先/豊中信用金庫 大阪支店  
普通口座97531「キャビンクラブ」  
(☎予約のない方は無効です。)

#### ☆注意

- 小学生以下のお子さまは、必ず父兄同伴のこと。
- 万一事故発生の場合、主催・運営者は一切責任を負いかねます。

### サムタイムヨットスクール

日 時/5月24日(日) 9:00~17:00  
会 場/ヤマハヨットスクール常設会場  
「びわこロッジ」大津市坂本町1-1-1  
(現地集合・現地解散)  
定 員/40名(定員になり次第締切り。)  
参 加 料/1人 8,000円  
内 容/初心者を対象とした、ヤマハ専属インストラクター同乗の1日コース。  
気軽に参加できます。  
スクール艇/ヤマハ16(シーラーク)  
ヤマハ11(ミキホッパー)  
申 込 み/5月18日(月)17時までに下記へ電話予約の上  
現金書留にてお支払いください。  
主 催/キャビンクラブ  
協 力/ヤマハ関西(株)海洋普及課

☎予約・問合せ 06-375-0842)

キャビンクラブ

〒530 大阪市北区鶴野町3-17 ファーストNビル403



## 第7回黒船カップ~~~~ ~~~~オープンヨットレース

### 開催要領

1. 主 催 下田市ヨット協会
2. 後 援 下田市  
下田商工会議所・下田市観光協会
3. 日 時 昭和62年5月17日(日)  
スタート時刻10:00(午前10時)  
タイムリミット16:00(午後4時)
4. コース 下田湾~神子元島~かつお島~下田湾  
約20哩、但し天候等により変更あり。
5. 資 格 船齡, 材質問わず。  
但し船検済安全備品積載の外洋ヨット
6. 競 技 ルール, レーティングは主催者にて定める。
7. 参加費 一艇 5,000円
8. 前夜祭 5月16日(土)午後6時より。  
パーティ 下田温泉ホテル(エメラルド)にて。  
参加費 1人 3,000円
9. 表彰式 5月17日(日)午後5時30分  
茶房「田」にて。



## NORC玄海支部総会

昭和62年4月12日(日) 16:05

(福岡市西区小戸3丁目)

市立ヨットハーバー内玄海支部)

- 末松 明支部長開会宣言。
- 進行 原田芳治事務局長指名。
- 出席者:18名(役員5名) 委任状 49
- 原田事務局長 決算報告
- 1. 収入部の内訳  
支出部の内訳  
1987年4月より、ハーバー内玄海支部事務室代の値より等。
- 2. 行事一覧表(1987年度)
- 3. NORC 玄関支部メンバーの名簿作成(100名?)
- 4. メンバーシップカード(本部取り扱い)  
17:45 閉会  
玄海支部(片倉)



# NORC協会ニュース

## 第9回代議員会及び第31回総会議事録

社団法人 日本外洋帆走協会

1. 日 時 昭和62年 2月21日(土)16:00~17:10

2. 場 所 東京都千代田区霞が関3-2-4

霞山ビル9F 霞山会館

3. 出席者

(1)代議員会 103名(うち代議員 72名)

代議員(出席 31名)

柿島亮一, 平野雅一, 石井竹彦, 川久保史朗, 熊沢光政, 前田泰明, 加藤忠男, 清田 博, 中谷林平, 延 滋男, 平田克己, 古川保夫, 朝河 清, 岩瀬慶一, 菅野 道, 北村勝彦, 平野喜美夫, 山崎達光, 中馬 勇, 富田剛且, 井上一典, 長束盛隆, 松崎義邦, 三宅直晴, 矢吹秀邦, 橋本浩之, 安原達朗, 柴田邦敏, 上羽正男, 諏訪祐男, 原 均

(委任状 41名)

津野守邦ほか40名

代議員以外の出席

秋田博正ほか30名

(2)総 会 694名(うち委任状632名)

4. 議 題

(1)代議員会

①昭和61年度事業報告及び収支決算報告

②昭和62年度事業計画及び収支予算案

③選挙管理委員の選任について

④昭和61年度会費滞納者(除名予定者)の取扱いについて

⑤その他

(2)総 会

①昭和61年度事業報告及び収支決算報告

②昭和62年度事業計画及び収支予算報告

③その他の報告事項

④その他

5. 議 事

16:00 秋田副会長の司会により開会, 秋田副会長から時間の制約があるため, 本会議は, 代議員会及び総会の合同会議としたい旨提議があり, 承認された。次いで久保常務理事から, 出席代議員は72名で代議員108名の過半数であり, また, 出席会員は694名で, 会員3253名の5分の1以上である旨の報告があり, 代議員会, 総会とも成立することを確認, 秋田副会長が議長となり議事録署名人に中馬, 平野両代議員を指名し, 議事に入った。

(1)昭和61年度事業報告及び収支決算報告について

久保常務理事から, 資料にもとづき, 昭和61年度事業の実施内容の報告があり, 児玉財務委員長から決算

報告書及び資料にもとづき, 61年度は事業補助金の返上という一大変革があったが各支部, 各委員会の協力を得て, 約76万円の黒字を維持することができた旨, また, 科目毎の収支予算比の説明では, 会員入会金, 会友艇登録料, レース参加料等の大幅増が目立った旨の報告があった。

横山監事から, 2月5日実施した会計監査の結果は, 適法正確であり, また業務監査の結果は, 法令定款に違反する事実はなかった旨報告があった。さらに横山監事から会員増の施策を長期展望にもとづいて研究してもらいたい旨理事会で要望したとの報告があった。

特に質疑等なく本議案を承認した。

(2)昭和62年度事業計画及び収支予算案について

久保常務理事から資料にもとづき, 昭和62年度事業計画の説明があり, 続いて児玉財務委員長から収支予算書及び資料にもとづき, 62年度予算案については, 第100回理事会(61. 12. 17)において, 骨子を, 収入面では, ①会費等の規定は維持する。②会費, 艇登録費は61年度実績予想値とする。③会友艇登録費の支部配分を設定する。④スポンサー付イベントに積極的に取組む。⑤事業を活性化し, 収入を確保する。支出面では, ①管理費は61年度実績予想値の5%上乗せとする。②管理費の関東支部配分は61年度の業務比例とする。③各委員会事業費(および収入)は, 各委員会提出の予算書を基準とする。④従前までの補助金対象事業費は, 担当委員会の事業費に戻す。⑤無線設備新規投資の項を設定する。(投資資金は本部, 償却・運営費は支部負担, 62年度は関東, 東海, 内海の3支部) ⑥特別事業の概略値を提示すること。として承認を得, この骨子にもとづいて作成した結果, 62年度予算案は総額154,535千円である旨, また, 宮坂帆走委員長から本部レースのスケジュールについて, ジャパンカップの実施日の変更, 八丈島レースの復活, 日本海レース(ナホトカレース)の本部レースへの移管等について説明があった。予算案について若干の質疑討論のうち, 本議案を承認した。

(3)選挙管理委員の選任について

久保常務理事から, 選挙管理委員の任期満了に伴い各支部から資料のとおり候補者が推薦されている旨の報告があり, 全員を承認した。

(4)昭和61年度会費滞納者(除名予定者)の取扱いについて

清水専務理事から, 資料のとおり会費滞納による除名対象予定者391名の報告があり, さらに, 予定者に

については、直ちに除名ということではなく、昨年どおり暫らくの猶予期間を置いて除名を決定したい旨の説明があり、本議案を承認した。

#### (5)その他

##### イ 日本海支部の設立について

秋田副会長から日本海支部の設立について地元の強い要望がある。近畿北陸支部との地域重複に関し、両者の協議・調整を前提として、発足を認めたいとの提案があり、朝河理事から、日本海地区では、クルーザーレーティングによるレースが企画されており、そのため支部設立の要望がある。クルーザーレーティング普及の見地からも是非実現の方向で作業を進めたいと説明があった。若干の質疑討論があり、本議案を承認した。

##### ロ IYRR 26条について

石井ルール委員長から次の報告があった。

NORCとしてIYRR 26条に関し、ポリシーを打出す時期に来ている。NORCのレースは、IYRRとNORC外洋レース規則にもとづき実施されているが、広告表示については、1977年以前にはIYRRには艇名表示について細かい規定がなく、従ってNORC外洋レース規則に商業宣伝禁止の項を設けていた。その後1981年1985年にIYRR 26条が改正されたことに伴い、NORC外洋レース規則の整合化作業を進めてきたところ昨秋IYRRの規定が緩和され、NORCとしてポリシーを確立する必要にせまられている。このポリシーは、ORC及び諸外国に通用するものでなければならず拙速はさけなければならない。時間をかけて考える必要がある。しかし、レース運営の現場では、直に対処すべき具体的ケースが発生しているので、ポリシーを確立するまでの間は、広告表示特別委員会（ルール、総務、帆走各委員

会で構成）により、個々のケースに対応することとしている。現在のORCは、IMSクラスには広告表示を認めない、IORクラスにはできるだけ認めようとの考え方をとっており、NORCとしてもこれを参考にして、ケース毎に対処してゆきたい。

ハ 久保常務理事から、資料により、61年中の新入会員は390名である旨、支部別、会員別の報告があった。

ニ 清水専務理事から、次の2レースが理事会で承認された旨の報告があった。

①オークランド・福岡ヨットレース（1989年4月～6月、オークランドーフィジーグアムー福岡）事業主催 福岡市、アジア太平洋博覧会協会 レース主催 NORC

②ヒロシマ・カップレース（1989年4月～5月、ホノルルー広島）主催 広島市、NORC（NORCは広島市との間の業務委託契約により事業を推進する。）

ホ 渡辺技術委員長及び前田代議員から、メルボルン・大阪ダブルハンドヨットレースに関し、メルボルン付近の気象、海象、ヨットクラブ、ヨットハーバー、市街地の状況、メルボルン・ホバートレース等について説明があった。

以上をもって議事を終了し、17:10第9回代議員会、第31回総会合同会議を終了した。

上記議事録に誤りのないことを証明し、記名押印する。  
昭和62年 2月21日

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 議長  | 秋田 博正 | 印 |
| 署名人 | 中馬 勇  | 印 |
| 署名人 | 平野喜美夫 | 印 |

~~~~~

## 第31回関東支部総会及び第1回関東支部代議員会議事録

社団法人 日本外洋帆走協会

### 関東支部

1. 日 時 昭和62年 2月21日(土)14:10～15:15

2. 場 所 東京都千代田区霞が関3-2-4

霞山ビル9F 霞山会館

#### 3. 出席者

(1)総 会 404名（うち委任状356名）

(2)代議員会 63名（うち代議員 42名）

代議員（出席 27名）

柿島亮一、平野雅一、石井竹彦、川久保史朗、熊沢光政、前田泰明、加藤忠男、清田 博、中谷林平、延 滋男、平田克己、古川保夫、朝河 清、岩瀬慶一、菅野 道、北村勝彦、平野喜美夫、山崎達光、

中馬 勇、富田剛且、井上一典、長束盛隆、松崎義邦、三宅直晴、矢吹秀邦、橋本浩之、安原達朗

（委任状 15名）

津野守邦ほか14名

代議員以外の出席

児玉萬平ほか20名

#### 4. 議 題

(1)昭和61年度事業報告及び収支決算報告

(2)昭和62年度事業計画案及び収支予算案

(3)昭和61年度関東支部基金決算報告

(4)その他

## 5. 議 事

14:10 清田副支部長の司会により開会、清田副支部長から会場の都合と時間の制約があるため、本会議は総会及び代議員会の合同会議としたい旨提議があり承認された。次いで久保総務委員から、出席会員は404名で会員1707名の5分の1以上であり、出席代議員は、42名で代議員57名の過半数である旨の報告があり、総会、代議員会とも成立することを確認、清田副支部長が議長となり、議事録署名人に菅原、井上、中馬三氏を指名し議事に入った。

## (1)昭和61年度事業報告及び収支決算報告

久保総務委員から、資料にもとづき、昭和61年度事業の実施内容の報告があり、兄玉総務委員から決算報告書及び資料にもとづき報告があった。飯島、横山両監事から会計監査及び業務監査の結果は、適法・正確で法令定款に違反する事実はなかった旨報告があった。特に質疑等はなく、本議案を承認した。

## (2)昭和62年度事業計画及び収支予算案について

久保総務委員から資料にもとづき、昭和62年度事業計画の説明があり、兄玉総務委員から収支予算書及び資料により、62年度予算案について説明があった。特に質疑等はなく本議案を承認した。

## (3)昭和61年度関東支部基金決算報告について

兄玉総務委員から資料にもとづき報告があり、飯島監事から適法・正確である旨の監査報告があり、質疑等はなく本議案を承認した。

## (4)イ. 支部選挙管理委員候補者の選出について

久保総務委員から候補者として大谷・亀井両氏の選出について説明があり、承認した。

## ロ. 関東支部運営規則の改正案について

久保総務委員から資料にもとづき関東支部専門委員会に「クルーザーレーティング」「広報」及び「通信」各委員会を設けたことに伴う所掌業務等所要の改正を行うものである旨の改正利用の説明があり、質疑等はなく本議案を承認した。次いで清田副支部長からクルーザーレーティング 武田、広報 浅野、通信 池内、各委員長の紹介があった。

## ハ. クラブハウス設立準備委員会の発足について

朝河代議員から準備委員会の発足について提案及び説明があった。

クラブハウスの必要性、準備委員会の意味、委員会設立の必要性、提案者は会員有志が常任委員会か等活発な質疑応答が行われた結果、現時点ではクラブハウス設立準備委員会は設置しないこととし、クラブハウス設立について、関東支部常任委員会で検討し、そのうえで、総会、代議員会において審議することとした。

以上をもって議事を終了し、15:15第31回総会、第1回代議員会合同会議を終了した。

上記議事録に誤りのないことを証明し、記名押印する。

昭和62年2月21日

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 議 長 | 清田 博  | 印 |
| 署名人 | 菅原 留意 | 印 |
| 署名人 | 中馬 勇  | 印 |
| 署名人 | 井上 一典 | 印 |

## 第12回 舵杯ヨットレース 報告

4月11日、12日、姫路木場ヨットハーバーを中心に〈春の大運動会〉の名のもとで開催された、第12回舵杯ヨットレースは、大盛況の内に閉幕しました。ハリマ灘を望む大阪、四国、兵庫、中国各地から総数80艇が集まり、晴れた空の下、華やかにレースが展開されました。風も、パワフルなセーリングは望めないまでも、お祭りにはもって来いの天気で好調な2日間。出来るだけ多くの艇が参加できるようにと、

クラスA (ボートのチューニング、クルーのトレーニングもバッチリ。セーリングの楽しみは、レースでなけりゃ。)

クラスB (クラスAで出たいけどクルー不足でしんどいな。スピンは無理。)

クラスC (船令も古く、船も重い、セールも古い。今さらレースはちょっと。のんびりセーリングしかした事ないけど、いっちゃってみるか。)

### 内海支部 H. SENOO



スキッパーズ・ミーティング

に分けた事で、大小、新古バラエティーにとんだレース運びとなりました。それだけに通常行われるレースとは一風変わった、それは面白いハプニング続出ノマークタッチで数艇そろって360°回転してみたり、スピンはまだしもスピンバックを流してポートフックと格闘しながら走らせている艇、ワンちゃんがバウワッチしていたり、ベビー用ライフジャケットの中に赤ちゃんの顔がうまっていたり……etc。実に、エッと目を見はる場面の多かった事。

木場Y・Hを中心とした陸会場では、数々のイベントが行なわれました。ラジコンヨットレース（ラジコンハリマ灘フリート、14艇参加）、フィッシャーメンズマーケット（地元漁協の協力）、ローイングカヌー体験教室（飾磨高校ボート部）、ジュニアヨットレース、撮影専用船を出してのヨットレース写真撮影会。（後日のマリンフォトコンテストは楽しみです。）

海に面する木庭山では、お花見の家族連れが、海に花開くヨット軍団、空に浮かぶ飛行船（コダックさんありがとう。）パラセールに見入っていました。

この度の〈海の祭り〉は、まだ海の楽しみを知る機会の少ない市民への大きなアピールになったのではないのでしょうか。この〈海の祭り〉が、海へのトビラを開けるパネとして、今後も続いてゆけばすばらしい事です。協賛して載しました、(株)舵社をはじめ多数の関係各社、団体の皆様には深く御礼を申し上げますと共に、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

また運営に協力載しました木場Y・Hはじめ、地元の方々、各ヨットクラブの方々他、まことにありがとうございました。この紙面をお借りしまして心よりお礼を申し上げます。



舵 社長



地元の唯一人の専業漁師さんが  
とれたてのシャコ・アサリをサービス

#### 協力 (財)姫路海洋体育事業協会(木場ヨットハーバー)

- ・的形ヨットクラブ
- ・岩見ヨットクラブ
- ・本荘ヨットクラブ
- ・八木連合自治会
- ・姫路市立飾磨高等学校 (ボート部)
- ・天然社
- ・舵クリート
- ・AGインダストリー
- ・海洋酒場 舵輪
- ・舟艇広報
- ・木場ヨットクラブ
- ・高砂ヨットクラブ
- ・姫路シーマンズクラブ
- ・八木漁業協同組合
- ・ヨロン島シーマンズクラブ
- ・クリーンテックス
- ・かんざわ BEST
- ・RCヨットハリマナダフリート
- ・アイデアショップ ヒラノ

#### 協賛 (株)舵 社

- ・ヤマハ関西神戸店
- ・アシックス
- ・ケンウッド
- ・ゴールドウィン
- ・アリカトレディング
- ・姫路気象ヨットサービス
- ・松本ヨット設計事務所
- ・明石ヨット
- ・フォトセンターメモリアル
- ・マリンショップ ノア
- ・フードセールメーカーズジャパン(株)
- ・ニュージャパンヨット(株)
- ・ヤンマー兵庫(株)
- ・坂本印刷
- ・一点鐘
- ・伊部(株)
- ・マリンショップ サボ
- ・バルコ
- ・ミヨシコーポレーション
- ・オクムラボート
- ・アンカレッジ コトズカ
- ・ハヤセマリンサービス

(…順不同)

後援 姫路市・姫路市教育委員会

主管 NORC 内海支部 的形フリート  
姫路ヨット協会

主催 (社)日本外洋帆走協会内海支部(NORC 内海)

成績表は次ページ



## クラス①出走21艇

| セー<br>ル<br>No | 艇<br>名        | 艇<br>種       | 艇<br>長 | RATING | T C F  | 第1レース                | 第2レース                  | 得点<br>合計 | 総合<br>順位 |
|---------------|---------------|--------------|--------|--------|--------|----------------------|------------------------|----------|----------|
|               |               |              |        |        |        | E. T. 着順 C. T. 順位 得点 | E. T. 着順 C. T. 順位 得点   |          |          |
| 3547          | EDMAGIC       | デュボア 1/2     | 谷口 亮一  | 16.3   | 0.6637 | 53:50 18 35:44 13 19 | 49:45 16 33:01 10 16   | 35       | 10       |
| 2133          | SONGOKU       | ホランド 1/2 TON | 春木 峰幸  | 19.0   | 0.6959 | 48:36 12 33:49 7 13  | 51:15 18 35:40 17 23   | 36       | 11       |
| 2882          | KOKS          | J-24         | 大森 直介  | 20.5   | 0.7128 | 57:53 21 41:16 21 27 | 55:42 20 39:42 20 26   | 53       | 20       |
| 3809          | エクソセ・ビー       | J-24         | 山田 豊和  | 20.5   | 0.7128 | 46:30 7 33:09 4 8    | 45:05 9 32:08 8 14     | 22       | 6        |
| 3008          | タカトラ          | ジョイラック26     | 尾上 義孝  | 20.7   | 0.7150 | 51:58 17 37:09 18 24 | 47:00 12 33:36 13 19   | 43       | 17       |
| 2950          | SEISAN        | ジョイラック26     | 成山 達郎  | 20.7   | 0.7150 | 56:39 20 40:30 20 26 | 1:02:30 21 44:41 21 27 | 53       | 21       |
| 2162          | PANDRA        | N-300        | 大川 芳信  | 20.9   | 0.7172 | 51:45 16 37:07 17 23 | 46:38 11 33:27 12 18   | 41       | 15       |
| 3723          | ヴァン・ヴェール      | YOK-30       | 福田 正弘  | 21.3   | 0.7215 | 50:28 15 36:25 15 21 | 45:47 10 33:02 11 17   | 38       | 13       |
| 2444          | コア II         | なかよし295      | 黒塚 武   | 21.5   | 0.7237 | 46:55 9 33:57 8 14   | 48:36 15 35:10 16 22   | 36       | 12       |
| 3658          | SEA.FEVER     | バイオニア9       | 山本 誠   | 21.8   | 0.7269 | 55:29 19 40:20 19 25 | 52:40 19 38:17 19 25   | 50       | 19       |
| 2768          | リズ            | デュボア 1/2 TON | 幾島 秀範  | 22.0   | 0.7290 | 50:17 14 36:39 16 22 | 47:31 14 34:38 14 20   | 42       | 16       |
| 3061          | ウイン・ババック      | ヤマハ30S       | 北川 功   | 22.1   | 0.7301 | 49:06 13 35:51 14 20 | 50:56 17 37:13 18 24   | 44       | 18       |
| 3178          | カウ・ベル         | TAK-F        | 三浦 勝彦  | 22.3   | 0.7322 | 43:40 4 31:58 3 5.7  | 43:24 7 31:47 7 13     | 18.7     | 5        |
| 3209          | インプレッション      | YOK-31       | 三木 明   | 22.4   | 0.7333 | 43:15 3 31:43 1 0    | 38:46 4 28:26 3 5.7    | 5.7      | ①        |
| 3456          | PANSE         | YOK-31N      | 大井 進   | 22.5   | 0.7343 | 47:56 11 35:12 11 17 | 47:12 13 34:40 15 21   | 38       | 14       |
| 3009          | R.ローズ         | YOK-30       | 片岡 清一  | 22.3   | 0.7322 | 46:00 6 33:41 6 11.7 | 38:28 3 28:10 1 0      | 11.7     | ③        |
| 3301          | サザンクロス        | YOK-30       | 河村 武彦  | 22.3   | 0.7322 | 47:09 10 34:31 9 15  | 44:37 8 32:40 9 15     | 30       | 9        |
| 3400          | FATES         | YOK-31P      | 出口 朗   | 22.8   | 0.7375 | 45:26 5 33:30 5 10   | 38:59 5 28:46 4 8      | 18       | 4        |
| 3279          | SACHI III     | YR34MKII     | 福原 幸洋  | 25.4   | 0.7640 | 46:45 8 33:43 12 18  | 41:19 6 31:34 6 11.7   | 29.7     | 8        |
| 3680          | バイ・サウ・イン・セーラー | X-99         | 己斐 健一  | 26.4   | 0.7738 | 41:04 1 31:47 2 3    | 36:36 2 28:19 2 3      | 6        | ②        |
| 2800          | SAKI          | YOK-39       | 宮内 雄治  | 29.6   | 0.8041 | 43:05 2 34:39 10 16  | 36:26 1 29:18 5 10     | 26       | 7        |

## クラス②出走21艇

| セー<br>ルNo | 艇<br>名      | 艇<br>種       | 艇<br>長 | KYS<br>No | 第 1 レ ー ス |    |       |           | 第 2 レ ー ス |         |    |         | 得点<br>合計 | 総合<br>順位 |           |    |
|-----------|-------------|--------------|--------|-----------|-----------|----|-------|-----------|-----------|---------|----|---------|----------|----------|-----------|----|
|           |             |              |        |           | E         | T  | 着順    | C T<br>順位 | 得点        | E       | T  | 着順      |          |          | C T<br>順位 | 得点 |
| 10        | レッド・ターニップ   | ミッシー17       | 陰山 明宏  | 55        | RET       |    | RET   | 20        | 26        | 1:32:55 | 19 | 51:06   | 5        | 10       | 36        | 12 |
| 44        | ライズ         | ヤマハ21C       | 大橋 泰幸  | 65        | 47:43     | 3  | 31:01 | 1         | 0         | 1:09:58 | 8  | 45:29   | 1        | 0        | 0         | ①  |
| 19        | のじぎく        | Y-24         | 山名 順彦  | 75        | 48:28     | 4  | 36:21 | 4         | 8         | 1:08:09 | 3  | 51:07   | 6        | 11.7     | 19.7      | 5  |
| 2318      | TWEETY      | フジZ-260      | 網干 貴普  | 75        | 57:07     | 13 | 42:50 | 12        | 18        | 1:19:22 | 12 | 59:32   | 15       | 21       | 39        | 13 |
| 8         | サンダウナー      | ヤマハ26C       | 堀田 洋一  | 75        | 52:36     | 7  | 39:27 | 8         | 14        | 1:09:46 | 7  | 52:20   | 8        | 14       | 28        | 8  |
| 1809      | ろくもんせん      | DP-26        | 真田 久嗣  | 75        | 55:17     | 12 | 41:28 | 10        | 16        | 1:12:45 | 10 | 54:34   | 10       | 16       | 32        | 9  |
| 12        | SALAMANDORA | ヤマハ26SC      | 今井 孝   | 75        | 51:56     | 6  | 38:57 | 6         | 11.7      | 1:08:49 | 5  | 51:37   | 7        | 13       | 24.7      | 6  |
| 1215      | 竹馬 III      | 7.5m木造       | 樹田 善光  | 70        | 50:31     | 5  | 35:22 | 2         | 3         | 1:08:47 | 4  | 48:09   | 3        | 5.7      | 8.7       | ②  |
| 40        | コラーサV       | アルベージュ30     | 福井 義之  | 78        | 1:00:22   | 14 | 47:05 | 15        | 21        | 1:23:26 | 16 | 65:04   | 17       | 23       | 44        | 17 |
| 42        | カノーパス       | バン・フエット9     | 阿部 亨   | 84        | 54:29     | 10 | 45:46 | 14        | 20        | 1:09:21 | 6  | 58:15   | 14       | 20       | 40        | 14 |
| 14        | SHIKASANI   | バイオニア9       | 廣根 幸昭  | 87        | 54:53     | 11 | 47:45 | 16        | 22        | 1:21:23 | 15 | 1:10:48 | 19       | 25       | 47        | 18 |
| 3634      | ホワイト・タイガー   | バイオニア9       | 児島 恵造  | 90        | 44:33     | 2  | 40:06 | 9         | 15        | 1:01:56 | 2  | 55:44   | 12       | 18       | 33        | 10 |
| 45        | きばいち丸       | ペンフォード35     | 石津 博一  | 57        | DSQ       |    | DSQ   | 21        | 27        | DNF     |    | DNF     | 21       | 27       | 54        | 21 |
| 35        | カリブソ        | ヤマハ30C       | 奥川 和生  | 80        | 1:07:34   | 18 | 54:03 | 19        | 25        | 1:29:41 | 18 | 1:11:45 | 20       | 26       | 51        | 20 |
| 11        | フラッパ        | ヤマハ21        | 岡田 次弘  | 55        | 1:31:04   | 19 | 50:05 | 17        | 23        | 1:45:38 | 20 | 58:06   | 13       | 19       | 42        | 16 |
| 46        | 桃源          | ヤマハ21 JOG II | 山下 卓二  | 62        | 1:01:28   | 16 | 38:07 | 5         | 10        | 1:13:28 | 11 | 45:33   | 2        | 3        | 13        | ③  |
| 2684      | リパティ        | ヤマハ21C       | 山本 勝繁  | 65        | 1:00:29   | 15 | 30:19 | 7         | 13        | 1:20:57 | 14 | 52:37   | 9        | 15       | 28        | 7  |
| 2349      | 三四郎         | PION         | 神頭 良夫  | 78        | 53:25     | 8  | 41:40 | 11        | 17        | 1:11:13 | 9  | 55:33   | 11       | 17       | 34        | 11 |
| 7         | MRS. F      | ヤマハ30C       | 赤木 清   | 80        | 1:05:22   | 17 | 52:18 | 18        | 24        | 1:23:40 | 17 | 1:06:56 | 18       | 24       | 48        | 19 |
| 43        | のたり II      | ヤマハ30C       | 松本 和基  | 80        | 53:42     | 9  | 42:58 | 13        | 19        | 1:20:16 | 13 | 1:04:13 | 16       | 22       | 41        | 15 |
| 2069      | サーティ III    | FARR 920     | 酒沢 順   | 92        | 39:06     | 1  | 35:58 | 3         | 5.7       | 54:22   | 1  | 50:01   | 4        | 8        | 13.7      | 4  |

## クラスC出走35艇

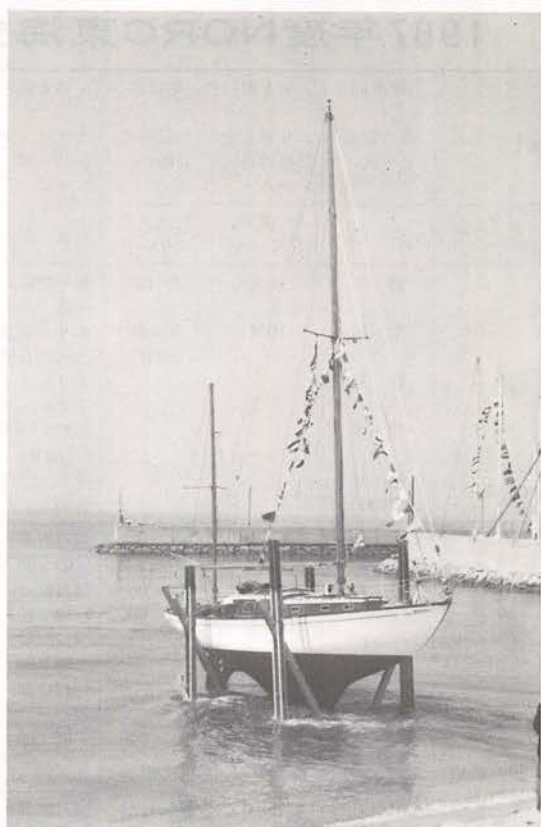
| セーリングNo. | 艇名               | 艇種          | 艇長    | KYS No. | 第1レース   |    |       | 第2レース |      |         | 得点合計 | 総合順位    |                 |      |      |    |
|----------|------------------|-------------|-------|---------|---------|----|-------|-------|------|---------|------|---------|-----------------|------|------|----|
|          |                  |             |       |         | E T     | 着順 | C T   | 順位    | 得点   | E T     |      |         | 着順              | C T  | 順位   | 得点 |
| SYC88    | PEKE II          | BW-21       | 鈴木 和生 | 60      | 56:09   | 23 | 33:41 | 3     | 5.7  | 1:14:46 | 27   | 44:52   | 7               | 13   | 18.7 | 4  |
| 41       | トワエ・モア           | BW-21       | 三木 敏夫 | 60      | 1:03:05 | 30 | 37:51 | 14    | 20   | 1:31:09 | 32   | 54:41   | 24              | 30   | 50   | 16 |
| 524      | アリゲーター           | Y-7mJOG(木造) | 加藤 誠一 | 60      | 1:31:31 | 35 | 54:55 | 34    | 40   | DNF     |      | DNF     | 35              | 41   | 81   | 33 |
| 36       | レヤンダ II          | BW-21       | 高尾 昌宏 | 60      | 1:29:48 | 34 | 53:53 | 33    | 39   | 1:39:36 | 34   | 59:46   | 31              | 37   | 76   | 32 |
| 3499     | ブルメリア            | エスプリ・デュ・パン  | 中西 達郎 | 82      | 48:58   | 14 | 40:09 | 18    | 24   | 52:48   | 5    | 49:02   | 14              | 20   | 44   | 14 |
| 4        | SEA-WING         | ヤマハ21RC     | 小田 実  | 65      | 1:14:23 | 33 | 48:21 | 31    | 37   | 1:33:37 | 33   | 64:45   | 33              | 39   | 76   | 31 |
| 1547     | WIND BELL        | オセアン22      | 前川 政信 | 68      | 51:29   | 19 | 35:01 | 6     | 11.7 | 1:09:10 | 23   | 47:02   | 9               | 15   | 26.7 | 8  |
| 50       | シェスタ             | ヤマハ25Mk II  | 近藤 政信 | 70      | 1:07:45 | 31 | 47:26 | 29    | 35   | 1:15:28 | 29   | 52:10   | 22              | 28   | 63   | 24 |
| 5        | メルセディータス         | ヤマハ30       | 尾原 健太 | 70      | 57:24   | 25 | 40:11 | 19    | 25   | 1:17:55 | 30   | 54:33   | 23              | 29   | 54   | 20 |
| 37       | ダラシス             | ヤマハ25Mk II  | 坂井 俊文 | 70      | 58:29   | 27 | 40:56 | 21    | 27   | 1:21:36 | 31   | 57:07   | 27              | 33   | 60   | 22 |
| 2879     | サマー・アイランド        | ヤマハ25-P     | 亀谷 勝信 | 72      | 47:19   | 12 | 34:04 | 4     | 8    | 1:01:08 | 11   | 44:01   | 4               | 8    | 16   | 3  |
| 359      | フォーチュン           | デヘイラー-26    | 松浦 博仁 | 72      | 1:08:17 | 32 | 49:10 | 32    | 38   | 1:05:33 | 18   | 47:12   | 10              | 16   | 54   | 19 |
| 2006     | LA MER           | バーバリアン      | 森下 知数 | 72      | 50:13   | 17 | 36:09 | 9     | 15   | 1:07:27 | 20   | 48:34   | 13              | 19   | 34   | 11 |
| 47       | アルバトロス II        | ハルモトクラーガー   | 田中 修  | 68      | 1:03:03 | 29 | 42:52 | 23    | 29   | 1:13:03 | 25   | 49:40   | 16              | 22   | 51   | 17 |
| 17       | ルナ III           | ソレイユ・ルボン    | 河合 清治 | 75      | 57:15   | 24 | 42:56 | 24    | 30   | 1:09:08 | 22   | 51:51   | 21              | 27   | 57   | 21 |
| 16       | ベティボア            | アルベージュ30    | 妹尾ひさる | 78      | 58:51   | 28 | 45:54 | 27    | 33   | 1:15:03 | 28   | 58:32   | 30              | 36   | 69   | 28 |
| 1807     | かさぐるま            | スカンビMk I    | 南 勝   | 78      | 51:59   | 20 | 40:33 | 20    | 26   | 1:05:20 | 17   | 50:58   | 19              | 25   | 51   | 18 |
| 1959     | アストレア III        | ヤマハ30       | 清水 潤三 | 78      | 58:17   | 26 | 45:28 | 26    | 32   | 1:14:27 | 26   | 58:04   | 29              | 35   | 67   | 27 |
| 1661     | でんぶく             | カーター30      | 松岡 敏  | 78      | 45:51   | 9  | 35:46 | 8     | 14   | 1:03:14 | 13   | 49:19   | 15              | 21   | 35   | 12 |
| 3326     | LA REINE DE SABA | ヤマハ30C II   | 長尾 正躬 | 80      | 46:00   | 10 | 36:48 | 12    | 18   | 50:01   | 4    | 40:01   | 2               | 3    | 21   | 5  |
| 1400     | ペンドリックス          | SS-30       | 山村 昭  | 80      | 46:25   | 11 | 37:08 | 13    | 19   | 55:41   | 8    | 44:33   | 6               | 11.7 | 30.7 | 9  |
| 1558     | いそしぎ             | SK-30       | 山口 仁郎 | 88      | 45:48   | 8  | 36:38 | 11    | 17   | 1:04:19 | 15   | 51:27   | 20              | 26   | 43   | 15 |
| 18       | MANANDO.Ⅲ        | ヤマハ30C      | 石田 雅人 | 80      | 41:41   | 5  | 33:21 | 2     | 3    | 1:02:13 | 12   | 49:46   | 17              | 23   | 26   | 7  |
| 1819     | リトル・レーサー         | スカンビMk II   | 津本 浩平 | 80      | 49:22   | 16 | 39:30 | 17    | 23   | 1:03:41 | 14   | 50:57   | 18              | 24   | 47   | 15 |
| 1717     | ESPRIT Ⅲ         | BW-30       | 三浦 隆昭 | 80      | 48:42   | 13 | 38:58 | 16    | 22   | 1:00:36 | 10   | 48:29   | 12              | 18   | 40   | 12 |
| 2269     | ヤンバラア            | スカンビMk II   | 山城 修  | 80      | 40:33   | 3  | 32:26 | 1     | 0    | 48:20   | 3    | 38:26   | 1               | 0    | 0    | 1  |
| 1653     | 又 鶴              | TM ¾ TON    | 池上 英夫 | 85      | 41:26   | 4  | 35:13 | 7     | 13   | 53:07   | 6    | 45:09   | 15 <sup>⑩</sup> | 21   | 34   | 10 |
| 1604     | HANAKO           | ノーリン34      | 岸田 貢  | 85      | 54:06   | 22 | 45:59 | 27    | 33   | 1:05:07 | 16   | 55:15   | 25              | 31   | 64   | 25 |
| 38       | さおり              | N-320       | 八木 進一 | 85      | 52:50   | 21 | 44:54 | 25    | 31   | 1:08:08 | 21   | 57:55   | 28              | 34   | 65   | 26 |
| 1991     | 千世 II            | オリオン33      | 広岡 成行 | 87      | 44:34   | 6  | 38:46 | 15    | 21   | 54:56   | 7    | 47:48   | 11              | 17   | 38   | 11 |
| 3287     | 酒 楽              | バイオニア10-2   | 利重 次郎 | 93      | 51:17   | 18 | 47:42 | 30    | 36   | 1:09:49 | 24   | 1:04:56 | 34              | 40   | 76   | 30 |
| 3377     | 朝 霧              | SS-38       | 横田 弘文 | 94      | 45:21   | 7  | 42:38 | 22    | 28   | 59:03   | 9    | 55:30   | 26              | 32   | 60   | 23 |
| 1500     | 瀬戸の花嫁            | エリクソン39     | 松田 貞三 | 95      | 49:20   | 15 | 46:52 | 28    | 34   | 1:06:45 | 19   | 1:03:25 | 32              | 38   | 72   | 29 |
| 2021     | 熊 野 III          | VAND40      | 大石 高  | 95      | 38:03   | 2  | 36:09 | 9     | 15   | 46:37   | 2    | 44:17   | 5               | 10   | 25   | 6  |
| 3516     | エルシノア            | ヤマハ30R      | 永原 康史 | 92      | 37:30   | 1  | 34:30 | 5     | 10   | 44:12   | 1    | 40:40   | 3               | 5.7  | 15.7 | 2  |

(A) ベナルディー  
 (=35×20%=7 加算済)



12時、紅白の幕の内で、神主の祝詞が始まる。親父も岡崎会長と並んで神妙な態度で聞いている。周囲には約150人の人達が、お祝いに集まっている。遠くは鹿児島県の能見大人、佐世保からは音成（ねしげ）、宮崎の松浦氏、広島の中田先生、東京からは五十嵐氏、国広氏。近くは、関西は言うにおよばず姫路、岡山、小豆島、高松から親父と付き合いのある人達はほとんど集まっている。

祝詞の後、神主は軽々と〈ミネルバ〉のデッキに上り、紙を小さく切ったのを散して艇を清めると、ちょうど花吹雪のようだ。神事が終り、いよいよ進水である。今日はシャンペンを割ることはせずに、ステムにふりかけるだけとなった。何故かと言うと最初の進水式の時に、キールにシャンペンの瓶を叩きつけると、瓶が割れずに、鉛のキールが瓶の形に丸く凹んだ、といういわれがあるからだ。無事に水に浮んだ〈ミネルバ〉はまた一段と奇麗である。艇をバックに記念撮影が、そこ、ここで始まる。



その後、紅白の天幕の下でパーティが始まる。親父の挨拶に日く、「ハル、デッキ下、キャビン等の点検、ボルト類のチェックをしたが、20年たってもびくともしていない。さすが岡崎造船の仕事だ。これなら、50年、100年たっても〈ミネルバ〉は大丈夫だ。」と例の大言壮語がでると、すかさず声あり、「親父は何年、生きるんや」に、どっと歓声があがる。親父日く、「30年目の進水式は今日以上に盛大にやるでえ、50年目はどうかなあ、生きとったらやるでえ」

パーティも盛りあがった頃、司会者の声あり「ただいまより進水を記念して、親父に淑女達よりプレゼントがありますので、自称カメラマン達は前に集合」とのこと。何事かと集まれば、淑女、行かず後家（オールドミスのこと）達が順番に、親父のほっぺ、おでこにキスの雨をふらしている。最後の傑作は親父の頭（毛のないところ）にベツリとキスマークを残していった。お祝いは夕方まで続き、親父はことのほか酒を過したのか、少々腰がふらつくほどの上機嫌であった。

こういうパーティは何時やっても気持ちのいいものである。

人々が三三五五帰っていても宴はいつまでも続き、はては、二次会だと言って晩遅くまでにぎやかに続いた。

（松岡 敏 記）

## 1987年度NORC東海支部主催レース日程表

| レース名               | 第1回<br>春の野島<br>レース                                           | 第1回<br>エリカ記念<br>三河湾合同<br>レース      | 第12回<br>五ヶ所湾<br>合同レー<br>ス       | 第5回<br>スプリング<br>シリーズ<br>レース                                                               | 第11回<br>伊勢湾<br>合同レー<br>ス | 第5回<br>津<br>合同レー<br>ス           | 第1回<br>秋の野島<br>レース                               | 第12回<br>東海フェス<br>ティバル<br>合同レース  | 第5回<br>オータム<br>シリーズ<br>レース                                                          |
|--------------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 管                | 支 部                                                          | 三 河 湾<br>フリート                     | 衣 浦 武 豊<br>フリート                 | 支 部                                                                                       | 四 日 市<br>フリート            | 津<br>フリート                       | 支 部                                              | 支 部                             | 支 部                                                                                 |
| コ ー ス              | 幡 豆<br> <br>生 田<br> <br>野 島<br> <br>豊 橋<br> <br>幡 豆<br>(30M) | 三河大島<br>周辺<br>(10M)               | 衣 浦<br> <br>五ヶ所<br>(50M)        | 春の野島レ<br>ース<br> <br>エリカ記念<br>三河湾合同<br>オリンピック<br>ク2レース<br>熊野レース<br>(60M)<br>(五ヶ所湾<br>合同+α) | 四日市<br> <br>津<br>(20M)   | オリンピ<br>ック2レ<br>ース<br> <br>津 沖  | 幡 豆<br> <br>梶 島<br> <br>野 島<br> <br>衣 浦<br>(20M) | 衣浦沖<br>(8M)                     | 1. オリンピ<br>ック<br>2 レース<br>2. オリンピ<br>ック<br>2 レース<br>3. 東海レー<br>ス<br>(30M)           |
| スタート               | 4/12<br>(日)<br>09:00                                         | 4/19<br>(日)<br>10:45<br>11:00     | 5/3<br>(日)<br>02:00<br>02:30    | 4/12(日)<br>09:00<br>4/19(日)<br>10:45<br>4/26(日)<br>09:00<br>13:00<br>5/3(日)<br>02:30      | 5/24<br>(日)<br>07:00     | 9/6<br>(日)<br>07:00<br>10:00    | 10/10<br>(土)<br>09:00                            | 10/11<br>(日)<br>13:00           | 1.11/21(土)<br>09:00<br>13:00<br>2.11/22(日)<br>09:00<br>13:00<br>3.11/23(月)<br>06:00 |
| 申込締切               | 4/5(日)                                                       | 4/12(日)                           | 4/26(日)                         | 3/29(日)                                                                                   | 5/17(日)                  | 8/30(日)                         | 10/4(日)                                          | 10/4(日)                         | 11/8(日)                                                                             |
| 出艇申告<br>及び<br>艇長会議 | 4/12(日)<br>07:00<br>日産マリ<br>ーナ東海                             | 4/19(日)<br>09:00<br>蒲郡ヨット<br>ハーバー | 5/2(土)<br>20:00<br>衣浦ヨット<br>クラブ | 4/12(日)<br>07:00<br>日産マリ<br>ーナ東海                                                          | 5/23(土)<br>17:00<br>四日市  | 9/5(土)<br>18:00<br>伊勢湾海<br>洋スポー | 10/10(土)<br>07:00<br>日産マリ<br>ーナ東海                | 10/10(土)<br>17:00<br>半田港運<br>ビル | 11/21(土)<br>07:00<br>日産マリ<br>ーナ東海                                                   |
| 担 当                | 三 河 湾                                                        | 三 河 湾                             | 衣 浦 武 豊                         | 幡 豆<br>碧 南                                                                                | 四 日 市                    | 津                               | 幡 豆<br>衣 浦 富 貴                                   | 衣 浦 富 貴                         | 幡 豆<br>碧 南                                                                          |

## 申し込み方法

各レース各支部事務局へ艇参加料を申込締切日迄に振り込み後、葉書にて申し込む。

(艇名、セールNo.クラス別(IOR、JOR、東海S)連絡責任者、住所、氏名、電話)

## 参加料

シリーズレース 艇→3万5千円 乗員→会員3千円、非会員6千円(含むパーティ)。

支部レース 艇→3千円 乗員→会員1千円、非会員4千円。

合同レースは別に指示。

## 参加資格

支部レースはIOR、JORまたは東海Sレーティングを所有しORC-4、NORC-C以上の安全検査合格艇であること。又、非登録艇も支部レースに東海Sにて参加可。

合同レースは特に制限しない。小型船舶安全検査合格艇であればよい。

## 表 彰

各レースごとの表彰の他に年間総合表彰があります。

シリーズレースは5レース中4レースの合計得点とする。

支部レース(春、秋の野島、熊野、東海、パール)は全5レースの年間合計得点とする。(総合およびクラス別)

合同レース(エリカ記念、五ヶ所湾、伊勢湾、津、東海フェス)は上位3レースの年間合計得点とする。

## 東海支部事務局

〒460 名古屋市中区丸の内3-21-21 丸の内東桜ビル902 ☎052-971-5835

振り込み先 東海銀行大津町支店 普307-481 (社)日本外洋帆走協会東海支部

パールレース 7月31日 スタート

ジャパンカップ オフショアシリーズレース(熱海)9月11日~23日

## \*お願い\*

①IOR、JORの更新手続きを早めに本部に申請して下さい。

②安全検査はフリート別日程に合わせ受験して下さい。

③本年から非登録艇も支部レースに東海Sにて参加できます。各クラブ友人艇をおさそい下さい。

非登録艇は会員半数以上の制限無し、NORC安全検査要、東海Sレーティング(実測無し)です。

# 西宮シリーズ

## ビッグボート ミドルボート

### 成績表

3/14(土) 第1レース  
3/15(日) 第2レース  
3/20(金) 第3レース  
3/21(土) 第4レース  
3/22(日) 第5レース

(社)関西ヨットクラブ

#### <ビックボート総合成績>

| 順位 | セーラーNo. | 艇名       | オーナー名 | 順位得点     |          |           |          |          | 得点    |
|----|---------|----------|-------|----------|----------|-----------|----------|----------|-------|
|    |         |          |       | 1回       | 2回       | 3回        | 4回       | 5回       |       |
| 1  | 3093    | フォーティ    | 菊池 誠  | 12.25(1) | 9.00(4)  | 11.00(2)  | 24.50(1) | 11.00(2) | 67.75 |
| 2  | 3521    | 美帆       | 浜田 茂治 | 9.00(4)  | 11.00(2) | 10.00(3)  | 20.00(3) | 8.00(5)  | 58.00 |
| 3  | 3070    | ZERO II  | 津村 重幸 | 7.00(6)  | 8.00(5)  | 12.25(1)  | 16.00(5) | 12.25(1) | 55.50 |
| 4  | 3538    | チャチャ     | 山村 彰  | 10.00(3) | 10.00(3) | 9.00(4)   | 14.00(6) | 9.00(4)  | 52.00 |
| 5  | 3537    | ウィル      | 小田 良司 | 11.00(2) | 12.25(1) | 0.00(DSQ) | 18.00(4) | 10.00(3) | 51.25 |
| 6  | 3115    | ミストレス・ハナ | 清水 太一 | 5.00(8)  | 2.00(11) | 8.00(5)   | 22.00(2) | 5.00(8)  | 42.00 |
| 7  | 1777    | CAZA 7   | 深見 祐二 | 8.00(5)  | 6.00(7)  | 7.00(6)   | 10.00(8) | 7.00(6)  | 38.00 |
| 8  | 2800    | SAKI VI  | 多胡 康敬 | 4.00(9)  | 4.00(9)  | 5.00(8)   | 12.00(7) | 2.00(11) | 27.00 |
| 9  | 2211    | カリニョ 7   | 古川 浩二 | 6.00(7)  | 7.00(6)  | 6.00(7)   | 2.00(0)  | 3.00(10) | 24.00 |
| 10 | 1090    | セントアポロニア | 三谷 淳夫 | 1.00(0)  | 5.00(8)  | 4.00(9)   | 8.00(9)  | 4.00(9)  | 22.00 |
| 11 | 2228    | 銀河 VI    | 南 良治  | 3.00(10) | 3.00(10) | 3.00(DNS) | 2.00(0)  | 6.00(7)  | 17.00 |
| 12 | 2525    | マルコー V   | 児島玄二郎 | 2.00(11) | 1.00(12) | 3.00(10)  | 6.00(10) | 1.00(12) | 13.00 |

#### <ミドルボートオフィシャル総合成績>

| 順位 | セーラーNo. | 艇名       | オーナー名   | 順位得点      |           |           |           |           | 得点    |
|----|---------|----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|
|    |         |          |         | 1回        | 2回        | 3回        | 4回        | 5回        |       |
| 1  | 3685    | 青波行      | 原 均     | 20.25(1)  | 10.00(11) | 13.00(8)  | 38.00(2)  | 18.00(3)  | 99.25 |
| 2  | 3209    | インプレッション | 三木 明    | 18.00(3)  | 9.00(12)  | 16.00(5)  | 40.50(1)  | 13.00(8)  | 96.50 |
| 3  | 3669    | アイムソーリー  | 常川 裕章   | 11.00(10) | 14.00(7)  | 10.00(11) | 34.00(4)  | 20.25(1)  | 89.25 |
| 4  | 1195    | フロントランナー | デービッド M | 15.00(6)  | 20.25(1)  | 11.00(10) | 36.00(3)  | 0.00(DSQ) | 82.25 |
| 5  | 3279    | サチ III   | 福原 幸洋   | 9.00(12)  | 17.00(4)  | 19.00(2)  | 26.00(8)  | 11.00(10) | 82.00 |
| 6  | 3678    | 安清丸      | 辻村満三郎   | 13.00(8)  | 13.00(8)  | 15.00(6)  | 30.00(6)  | 9.00(12)  | 80.00 |
| 7  | 3525    | フロレス     | 鬼頭 洋二   | 16.00(5)  | 16.00(5)  | 9.00(12)  | 20.00(11) | 17.00(4)  | 78.00 |
| 8  | 3255    | スーパールシー  | 長谷川富延   | 10.00(11) | 8.00(13)  | 17.00(4)  | 28.00(7)  | 14.00(7)  | 77.00 |
| 9  | 2857    | 白鯨       | 池 道正    | 6.00(15)  | 15.00(6)  | 18.00(3)  | 22.00(10) | 16.00(5)  | 77.00 |
| 10 | 3414    | オッシュサン   | 井上 一典   | 19.00(2)  | 12.00(9)  | 20.25(1)  | 18.00(12) | 0.00(DSQ) | 69.25 |
| 11 | 3336    | タック      | 小出 拓己   | 17.00(4)  | 11.00(10) | 12.00(9)  | 14.00(14) | 15.00(6)  | 69.00 |
| 12 | 3302    | トライアングル  | 長谷川隆男   | 14.00(7)  | 19.00(2)  | 14.00(7)  | 4.00(0)   | 10.00(11) | 61.00 |
| 13 | 2998    | グッディ     | 小野 耕作   | 12.00(9)  | 7.00(14)  | 6.00(15)  | 16.00(13) | 19.00(2)  | 60.00 |
| 14 | 3307    | カゲロウ     | 和気五一郎   | 8.00(13)  | 18.00(3)  | 8.00(13)  | 8.00(17)  | 12.00(9)  | 54.00 |
| 15 | 3228    | フィデア 2   | 船越 肇    | 7.00(14)  | 4.00(17)  | 3.00(18)  | 32.00(5)  | 8.00(13)  | 54.00 |
| 16 | 3178    | カウベル     | 永信 修治   | 2.00(19)  | 1.00(20)  | 4.00(17)  | 24.00(9)  | 3.00(18)  | 34.00 |
| 17 | 3533    | ウィザード V  | 日柳 政俊   | 5.00(16)  | 6.00(15)  | 7.00(14)  | 2.00(0)   | 7.00(14)  | 27.00 |
| 18 | 3316    | ルベルソー    | 中村 忠昭   | 4.00(17)  | 3.00(18)  | 5.00(16)  | 10.00(16) | 5.00(16)  | 27.00 |
| 19 | 3323    | 流星       | 古賀 正行   | 1.00(0)   | 2.00(19)  | 1.00(20)  | 12.00(15) | 6.00(15)  | 22.00 |
| 20 | 3400    | フェイタス    | 稲嶽 一洋   | 3.00(18)  | 5.00(16)  | 2.00(19)  | 4.00(0)   | 4.00(17)  | 18.00 |

#### <ミドルボートオープン総合成績>

| 順位 | セーラーNo. | 艇名          | オーナー名 | 順位得点      |         |         |           |           | 得点    |
|----|---------|-------------|-------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|-------|
|    |         |             |       | 1回        | 2回      | 3回      | 4回        | 5回        |       |
| 1  | 3585    | アリアドネ       | 竹内 雅春 | 9.25(1)   | 8.00(2) | 9.25(1) | 0.00(***) | 0.00(***) | 26.50 |
| 2  | 3680    | バイザウィンドセーラー | 己 健一  | 4.00(6)   | 9.25(1) | 8.00(2) | 0.00(***) | 0.00(***) | 21.25 |
| 3  | 3445    | ウェイクアップ     | 味村 義秀 | 7.00(3)   | 6.00(4) | 6.00(4) | 0.00(***) | 0.00(***) | 19.00 |
| 4  | 1203    | 甲 竜         | 奥田 浩也 | 8.00(2)   | 7.00(3) | 2.00(8) | 0.00(***) | 0.00(***) | 17.00 |
| 5  | 2771    | フォーラム       | 織田 融高 | 5.00(5)   | 5.00(5) | 5.00(5) | 0.00(***) | 0.00(***) | 15.00 |
| 6  | 2323    | オデントサン      | 鴻池 祥肇 | 2.00(DNS) | 4.00(6) | 7.00(3) | 0.00(***) | 0.00(***) | 12.00 |
| 6  | 2244    | クリスティアーヌ VI | 荒井敬一郎 | 6.00(4)   | 3.00(7) | 3.00(7) | 0.00(***) | 0.00(***) | 12.00 |
| 8  | 3455    | アサカゼ        | 伊藤 耕磁 | 2.00(8)   | 1.00(9) | 4.00(6) | 0.00(***) | 0.00(***) | 7.00  |
| 9  | 2069    | サーティースリー    | 浜田 紀雄 | 3.00(7)   | 2.00(8) | 1.00(9) | 0.00(***) | 0.00(***) | 6.00  |

# THE AMERICA'S CUP 1987

## THE OFFICIAL RECORD

### ヨットマン待望の アメリカ杯：公式記録写真集



4年毎に行われる最大のヨットレース、アメリカズ・カップは、伝統があるというばかりでなく、国の威信をかけ、ヨットクラブの名誉にかけて戦われる、大変エキサイティングなレースとしても有名です。前回の勝利国の中からディフェンダー（防衛艇）が、対するチャレンジャーも各国チームの中から、それぞれ予選レースを経て選ばれ、この2艇がマッチレースを展開。今年のアメ리카杯は我国でも大変話題になりました。

長いアメリカ杯史の中で不敗を誇っていたアメリカを、前回1983年に破ったオーストラリアが今年の防衛艇。そしてアメリカは勿論、杯を奪還するために大変な意気込みで挑戦艇になり、この米豪対決は世界中を沸かせましたが、予選から最終戦までの長い戦いを記録した写真集《アメリカズ・カップ・オフィシャル・レコード》が出版されました。レース中の各艇の勇姿やチームメンバーの操帆光景などをカラー写真で紹介

する他、エントリーした全チームと艇のデータ、レースタイムの公式記録を掲載。ヨットマンは言うまでもなく、一般の人にもすばらしいヨット写真集として楽しめる内容です。次回のチャレンジャーカップには日本もエントリーするなど、関心が高まっている折からベストセラーを期待できます。ポプ・フィッシャー著、全写真カラー、302×225 mm 256ページ上製、オーラムプレス社刊 予価6,460円。

販売：全国主要洋書店にて

通信販売ご希望の方は

洋書ビブロス 〒160 東京都新宿区高田馬場1-26-5

FIビル4F

☎03-200-4531まで。

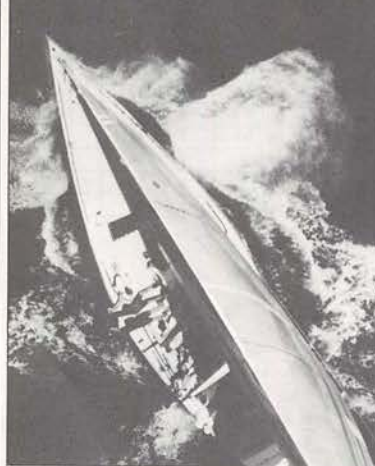
# Yachting

## SAIL & POWER GRAPHIC MAGAZINE

ヨット&ボートの  
本格派月刊誌

6月号

オールグラビア&オフセット  
A4変型 定価850円



次号・7月号  
6月10日発売

クルージング派必読  
セイラリス・スケッチブック

ニューボートガイド  
ハンター28・5/サンタクルーズ30

身近なニュートレンド  
セイリング・タウン筑後川  
オープンボートクルーズのすすめ

巻頭カラー  
メルボルン〜大阪ダブルハンドレース  
国際C級カタマランレース  
マイアミ〜モンテネグロレース

シーズンイン大特集  
ディンギーで  
夏へ走り出そう！  
ビギナーからベテランまで必ず役立つビック企画

〒141 東京都品川区東五反田3-6-18

立風書房

TEL447-1191 振替 東京5-74493

# S.T.C 結果報告

## 2月22日 第2回レース概況

スタート前に風が東に振れ、本部船寄り有利のスタートになってしまいました。残念です。

Aクラスは予定通り11:00スタート、スターボードタックの一番風上から〈FORTY〉が、中間から〈ゼロ〉がフライング、〈FORTY〉はすぐにタックをして本部船を時計廻りをして再スタート、第1下マークまでは、〈雪風〉に先行されたものの、第2上マークで逆転、そのままトップでフィニッシュしました。〈ゼロ〉は再スタートせずDSQ。

スタートラインが風向に直角であれば、理論的にはどこからスタートしても同じわけですが。遅れずに、全速力で、フレッシュウインドを捕えることがスタートの条件です。それに加えて、スタート後に走るコースも考えておかなければなりません。今回のように、風向が右に（本部船側に）に振れていれば、風上の一点スタートになります。

〈FORTY〉は、いちばん風上で飛び出してしまいました。でも風上だったのですぐにタックをすることができて、再び風上からスタートしました。特にSTCレースは、ラウンジエンドルールを適用していますから、中間でのフライングは、最悪です。確認もしにくいのです。今回の〈FORTY〉と〈ゼロ〉のスタートは、その位置によるフライングの明暗を象徴していました。

J/24を含むその他のクラスは、1回のゼネラルリコールの後、S.T.C. ハードワンミニッツルールを適用して、11:20にスタート、〈シルフィード〉〈Mrs. メデューサ〉がはげしいトップ争いの末、先行艇有利の条件の中で、〈シルフィード〉が4位、〈Mrs. メデューサ〉が6位とAクラスの中にくいこむ好走を示しました。

J/24クラスは、まったくのスクラッチレースであり、〈チャイナタウン〉と〈スーパーキッズ〉がバツグンの走りでも寄せつけず、最終レグで、〈スーパーキッズ〉が逆転したのは見事でした。

| 運営協力各社・協力者 |             |
|------------|-------------|
| 武 村 氏      | エスピースボーツクラブ |
| 鷺 尾 氏      | スーパーサンバード   |
| 中 村 氏      |             |
| 秋 原 氏      |             |
| 高 杉 氏      | カメラマン       |
| 石 田 氏      |             |
| エスビー食品     | 1/4チップ、他    |

## S. T. C. 第2回戦総合順位成績表

| フィニッシュ               |      | 順位         |               |
|----------------------|------|------------|---------------|
| 艇 名                  | 総合順位 | 修正時間       | フィニッシュ時間 着順   |
| FORTY                | 1    | 1' 17' 45" | 1' 35' 56" A1 |
| 雪 風                  | 2    | 1' 19' 39" | 1' 37' 31" A2 |
| メイフル                 | 3    | 1' 19' 54" | 1' 38' 49" A3 |
| シルフィード               | 4    | 1' 20' 35" | 1' 48' 48" 1  |
| あ さ ま                | 5    | 1' 20' 46" | 1' 41' 59" A4 |
| Mrs.メデューサ            | 6    | 1' 22' 13" | 1' 49' 29" 2  |
| シークラウン               | 7    | 1' 22' 26" | 1' 51' 38" 4  |
| オッシュサン               | 8    | 1' 22' 55" | 1' 52' 16" 5  |
| シーライオン               | 9    | 1' 23' 36" | 1' 42' 07" A5 |
| AFRODITA             | 10   | 1' 23' 40" | 1' 55' 06" 10 |
| MAY BE               | 11   | 1' 23' 47" | 1' 53' 46" 6  |
| 海 太 朗                | 12   | 1' 24' 06" | 1' 51' 15" 3  |
| リップル                 | 13   | 1' 24' 35" | 1' 55' 11" 11 |
| I S I S              | 14   | 1' 25' 20" | 1' 56' 12" 12 |
| 一 葉                  | 15   | 1' 25' 41" | 1' 56' 52" 14 |
| は る 組                | 16   | 1' 25' 53" | 1' 56' 37" 13 |
| DISCODORI            | 17   | 1' 26' 16" | 1' 54' 06" 9  |
| タバサIII               | 18   | 1' 26' 27" | 1' 57' 44" 15 |
| ペーシック                | 19   | 1' 26' 42" | 1' 59' 37" 18 |
| 再 見                  | 20   | 1' 27' 21" | 1' 58' 58" 16 |
| 3 5 4 5              | 21   | 1' 27' 35" | 1' 59' 06" 17 |
| クリストファー              | 22   | 1' 28' 17" | 2' 00' 34" 19 |
| LEVIATHAN            | 23   | 1' 28' 46" | 2' 00' 43" 20 |
| ネフノレオ                | 24   | 1' 30' 01" | 2' 02' 57" 21 |
| メルルーサ                | 25   | 1' 30' 39" | 2' 04' 10" 23 |
| ベガサス                 | 26   | 1' 31' 51" | 2' 11' 59" 32 |
| ブルーノート               | 27   | 1' 32' 15" | 1' 52' 27" A6 |
| アルカンシェル              | 28   | 1' 32' 59" | 2' 06' 16" 25 |
| ビックバン                | 29   | 1' 33' 44" | 1' 54' 38" A7 |
| TRACER               | 30   | 1' 34' 47" | 2' 09' 38" 30 |
| ジュルピアン               | 31   | 1' 34' 58" | 2' 09' 53" 31 |
| モアジョイサンク             | 32   | 1' 37' 13" | 2' 06' 45" 27 |
| ビックディール              | 33   | 1' 37' 47" | 2' 13' 56" 34 |
| ウィンドフェアリー            | 34   | 1' 40' 14" | 2' 25' 44" 37 |
| ボイジャー                |      |            | 2' 06' 52" 29 |
| レディラハイナ              |      |            | 2' 23' 54" 36 |
| ゼロII、ラハイナIII、ジャックボット |      |            | DSQ           |
| テレスコ、メイファー、桃 李       |      |            | RET           |
| BōY、紫 魂              |      |            | DNS           |
| J/24 クラス             |      |            |               |
| スーパーキッズ              | 1    |            | 1' 53' 53" 7  |
| チャイナタウン              | 2    |            | 1' 54' 03" 8  |
| NOWAKI               | 3    |            | 2' 02' 58" 22 |
| オ ル カ                | 4    |            | 2' 04' 57" 24 |
| ピンクキッズ               | 5    |            | 2' 06' 46" 26 |
| エスカルゴ                | 6    |            | 2' 06' 48" 28 |
| ハゼドン                 | 7    |            | 2' 13' 33" 33 |
| モビーディック              | 8    |            | 2' 17' 37" 35 |
| 快 進 丸                |      | DSQ        |               |

厳冬の2月、53隻のレーサーがスピンネーカーを展開して、相模湾は、熱くなりました。参加艇の熱意に応えるためにも、いいスタートラインをつくりたいと思っています。

(武村 記)

## 3月15日 第3回レース概況

今回のスタートラインは、うまくできたと思っています。風は40°を起点に東へ振れては戻り、定まらない。おのれっ、風めノの怒りが通じたのか、予定時刻の10:30には、元の40°に落ちつき、全艇一斉スタート、無事練習コースを終了しました。

本番はAクラスが12:00スタート、5分間隔で、Bクラス、その他クラスと、やり直しなしでスタートを完了。この間の本部船の忙しさ、緊張は、かなりのものでありました。

ところで、このたびは、参加艇のみなさんに申し上げたい事があります。

まず、帆走指示書をよく読んでいただきたい。本部船の信号によく注目していただきたい。

本部船は、ダテにいろんな旗を上げたり降ろしたりしているのではないのです。運営サイドは、全艇に公平にレースを運営するために、間違いなく信号を発することに全神経を集中しています。失礼ながら、自艇がどのクラスに属し、いつスタートするのか、おわかりでなかったヨットがいたように思います。他のクラスと一緒にスタートして、しばらく走ってから気がつき、慌てて戻ったけれど、今度は自分のスタートに間に合わなかったというのではなんともしまらない話です。

レースにおけるすべてのコミュニケーションは、視覚信号が、優先します。国際レースで、言葉が通じなくても信号さえ正しく理解していれば支障はないのです。本部船は、レース艇からの信号に対するクレームをおそれています。間違いは許されないので。云ってみれば運営サイドとレース艇との戦いなのであります。その戦いの緊張感が、レース運営の質を高めるのです。

日本外洋ヨットのトップレーサーと、トップレーサーを目指す精鋭が集うS.T.C.はかくありたいと思うのであります。

(武村 記)

### 《抗議について》

ケース発生時間：オリンピックレーススタート約10分後

抗議艇：〈AFRODITA〉より〈MAYBE〉へ  
内容：規則41の1及び41の4により、〈AFRODITA〉が接触を回避するためにタックを行った件で、抗議が出されました。〈MAYBE〉からは、状況説明書の提出だけで、抗議書は出ませんでした。

結果：〈AFRODITA〉よりの抗議が成立

### 《事務局より》

#### ◎エントリーに関して

毎回、毎回お願いしていますが、エントリーは、必ず事前をお願いします。

やむを得ず、海上で参加する場合、必ず本部艇に参加の意思表示をして下さい。

### S.T.C 第3回戦総合順位成績表

| ファイニッシュ順位                      |      |            |            |      |  |
|--------------------------------|------|------------|------------|------|--|
| 艇名                             | 総合順位 | 修正時間       | ファイニッシュ時間  | 着順   |  |
| 海 太 朗                          | 1    | 1' 07' 50" | 1' 29' 43" | B 1  |  |
| B O Y                          | 2    | 1' 09' 21" | 1' 30' 54" | B 2  |  |
| シルフィード                         | 3    | 1' 09' 47" | 1' 34' 21" | B 3  |  |
| ブルーノート                         | 4    | 1' 10' 06" | 1' 25' 27" | A 2  |  |
| コンテッサ                          | 5    | 1' 10' 24" | 1' 24' 38" | A 1  |  |
| I S I S                        | 6    | 1' 10' 41" | 1' 36' 15" | 1    |  |
| ゼーアドラー                         | 7    | 1' 10' 50" | 1' 25' 42" | A 3  |  |
| 雪 風                            | 8    | 1' 11' 33" | 1' 27' 59" | A 6  |  |
| オリヒメ                           | 9    | 1' 11' 41" | 1' 27' 18" | A 4  |  |
| シーライオン                         | 10   | 1' 11' 48" | 1' 27' 43" | A 5  |  |
| 再 見                            | 11   | 1' 12' 42" | 1' 39' 01" | 2    |  |
| リッブル                           | 12   | 1' 12' 52" | 1' 39' 14" | 3    |  |
| メイブル                           | 13   | 1' 12' 55" | 1' 30' 11" | A 7  |  |
| ネフノレオ                          | 14   | 1' 13' 37" | 1' 40' 33" | 4    |  |
| タバサIII                         | 15   | 1' 14' 45" | 1' 41' 48" | 5    |  |
| シグナス                           | 16   | 1' 15' 17" | 1' 38' 55" | B 4  |  |
| A F R O D I T A                | 17   | 1' 15' 31" | 1' 43' 53" | 7    |  |
| シークラウン                         | 18   | 1' 15' 54" | 1' 42' 47" | 6    |  |
| ビックバン                          | 19   | 1' 16' 17" | 1' 33' 17" | A 8  |  |
| かぐや姫                           | 20   | 1' 16' 47" | 1' 43' 25" | B 5  |  |
| 一 乗                            | 21   | 1' 18' 03" | 1' 46' 26" | 8    |  |
| エブタイド                          | 22   | 1' 18' 04" | 1' 47' 42" | 9    |  |
| ベーシック                          | 23   | 1' 18' 20" | 1' 48' 05" | 10   |  |
| S O U M Y                      | 24   | 1' 18' 48" | 1' 46' 06" | B 6  |  |
| イーグル                           | 25   | 1' 18' 56" | 1' 46' 17" | B 7  |  |
| LEVIATHAN                      | 26   | 1' 24' 06" | 1' 54' 22" | 13   |  |
| ボインシアナ                         | 27   | 1' 25' 49" | 1' 58' 46" | 15   |  |
| ベガサス                           | 28   | 1' 26' 56" | 2' 04' 55" | 19   |  |
| クリストファー                        | 29   | 1' 27' 28" | 1' 69' 28" | 17   |  |
| ティプロン                          | 30   | 1' 28' 26" | 2' 01' 18" | 18   |  |
| 都 風                            | 31   | 1' 28' 46" | 1' 59' 11" | B 8  |  |
| ボイジャー                          | 32   | 1' 32' 20" | 2' 06' 50" | 20   |  |
| T R A C E R                    | 33   | 1' 34' 06" | 2' 08' 42" | 22   |  |
| モアジョイサンク                       | 34   | 1' 36' 37" | 2' 05' 58" | B 9  |  |
| ウィンドフェアリー                      | 35   | 1' 40' 33" | 2' 26' 12" | 24   |  |
| かげろ                            | 36   | 1' 40' 43" | 2' 15' 47" | B 10 |  |
| バッドボーイ                         |      |            | 2' 22' 45" | 23   |  |
| メルルーサ                          | DMS  |            | 1' 58' 39" | 参考   |  |
| M A Y B E                      | DSQ  |            | 1' 43' 20" | 参考   |  |
| 紫魂、レディラハイナ、スーパーフィビー、パッセージ、バビルス |      |            |            |      |  |
| DNF                            |      |            |            |      |  |
| J/24 クラス                       |      |            |            |      |  |
| オ ル カ                          | 1    |            | 1' 50' 32" | 11   |  |
| スーパーキッズ                        | 2    |            | 1' 53' 51" | 12   |  |
| エスカルゴ                          | 3    |            | 1' 56' 06" | 14   |  |
| N O W A K I                    | 4    |            | 1' 59' 25" | 16   |  |
| レディシア                          | 5    |            | 2' 08' 17" | 21   |  |

12:00 Aクラススタート  
12:05 Bクラススタート  
12:10 Cクラス  
Yクラス } スタート  
J/24クラス

風向 80°  
風速 7m→4m→1.2m

#### 運営協力各社、協力者

|         |              |
|---------|--------------|
| 武 村 氏   | エスピーススポーツクラブ |
| 石 田 氏   |              |
| 秋 原 夫 人 |              |
| 初 鹿 野 氏 |              |
| 高 杉 氏   | カメラマン        |
| エスビー食品  | 5/8チップ、鈴木クン  |

## 売りたい／買いたい 情報コーナー

①全長 ②船齢 ③材質 ④装備品 ⑤希望価格  
⑥住所 ⑦氏名 ⑧連絡先

〈売りたい〉

サチ

- ①全長：30 ft ②11年 ③FRP(ハル・デッキ USA 製)  
④セール各1枚 ⑤希望価格300万円(小網代渡し)  
⑥東京都江戸川区中央3-19-5 ⑦富田剛且  
⑧☎03-656-3101(昼・夜)

## 新登録艇の紹介

セール番号、艇名、帆装、フリート、全長×  
水線長×巾×吃水、オーナー名、その他の順  
☆印は会友艇

PLUMAGE ワンオフ 佐島マリーナ 11.15×9.50  
×3.66×1.85 井上修一／艇名の由来：PLUMAGE  
とは英語で、羽毛という意味です。微風でも軽やかに  
動き、決して沈まない羽に、オーナーのヨットへの思  
いを託しました。／抱負：外洋帆走技術の向上を計り、  
やがて海外長期クルージングが出来たらと思います。  
／クルー：社員及びその家族。／NORCへの要望：  
我が国の海上レジャーは、先進国の中でも、最も劣悪  
な条件下にあります。日本の海面は運送、漁業、レ  
ジャーに等しく利用されるべきであり、そのどれもが  
不利な扱いを受けるべきではありません。その意味か  
らいっても海面の三者の占有面積はもっと考えられる  
べきであり、国民の払う税金もそれに準ずるべきです。  
その事に依り海洋レジャーは現在の偏った姿から脱皮  
でき、誰もが気軽に取りつけるスポーツに変貌するこ  
とでしょう。NORCはその為の政治的圧力団体とな  
るべきであり、一部の会員の友好クラブでとどまるべ  
きではないと考えます。

3561 Ça et là(サエラ) X-3/4 ton 逗子マリー  
ナ 沼田尚文／艇名の由来：フランス語でサエラはあ  
ちこちの意。ブルーウォーター派から一転してレース  
にも出場してみようと意欲を燃やしています。／抱負：  
オリジナルメンバーで頑張っけてゆき、レースで上位  
を狙えればと思っています。／クルー：永野隆雄をスキ  
ッパーに、多田将三、他若手メンバーで意欲十分。  
／NORCへの要望：本格的なレース、ファミリーレー  
スなど、楽しい企画を望みます。

〈売りたい〉

サーモンⅡ

①32呎クルーザー ②24年 ③桧ダブルブランキン  
グ、他チーク多用、スハープ、マスト、ブーム、アル  
ミ製④ヤンマー3 GM(60年6月新替)／デザイナー  
：渡辺修二／造船所：加藤ボート ⑤応談 ⑥神奈川  
県横浜市神奈川区片倉町724 ⑦飯島征二郎 ⑧  
045-481-6206 ※〈サーモンⅡ〉に関する記事は「舵」  
誌1984年11号に渡辺修二氏の稿「どんがめ物語」に記  
載されています。



3710 ジュルピアン 横山30SR 逗子マリーナ  
8.99×7.40×3.30×1.80 三宅直晴／艇名の由来：1  
号艇が「バサトーレ」で、フランス語でしたので、艇  
名もフランス語でつけました。「再会」という意味で、  
以来、この艇名を踏襲しています。港から再会を約し  
て出ていく艇の姿を思い浮べてつけました。／抱負：  
明るく楽しいヨットライフにしたいと思います。／  
クルー：釜田博久、丹生谷満、豊田眞治、豊田ナナ、  
大河原雅之、関矢泰樹、石丸謙次、鳴海裕次／  
NORCへの要望：レース時の艇長会議等を、遠隔地  
の人達、ハーバー事情等を考慮して、STC方式で事  
前に帆走指示書を申込者に郵送して、これにかえるこ  
となど、参加し易いようにするにはどうすればよいか  
を研究し、実行して頂きたいと思っています。

RACCOON YR-30 東京湾マリーナ 8.98×?×  
3.10×1.85 弘 義行／艇名の由来：なんとなく／抱  
負：今年はタックとジャイブのマスターで来年中には  
スピンホイストできるようにしたい。／クルー：桜井  
重利、宮川 正、山浦克洋、小野元寛、白方良汰、實  
野文彦／NORCへの要望：各艇から一名選んだ女性  
クルーでミス NORC を決めてほしい。

OFFSHORE 第146号 昭和62年 5月15日発行  
毎月1回15日発行  
昭和52年 7月21日 第三種郵便物認可  
1部定価300円(郵送料45円)

発行 社団法人 日本外洋帆走協会  
東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル4階)  
電話・東京03(504)1911~3 〒105  
郵便振替番号2-21787  
印刷 正進社印刷株式会社

海はスポーツ新大陸

**YAMAHA**

ヤマハ発動機株式会社

# 風よりも、前へ。

世界のレーシングシーンでも通用する、高性能で「勝てる」ヨットを。こうした熱い期待にお応えして、ヤマハがもてる技術と経験のすべてを注いで建造するY・Rシリーズ。すでに、数多くの精鋭を生み出し、国内はもとより海外でも高い評価を得ています。Y・Rシリーズは、今年も、今年こそ、ただ勝つために走り続けます。

**YAMAHA-R30STD**

L.O.A 8.98m • BEAM 3.10m • DRAFT 1.85m • DISPL 2.70ton •  
BALLAST 1.20ton • SAIL AREA 38.57m<sup>2</sup> •  
I.O.R.R (about) 22.5feet

**YAMAHA-R34II**

L.O.A 10.40m • BEAM 3.35m • DRAFT 1.90m • DISPL 3.70ton •  
BALLAST 1.80ton • SAIL AREA 50.03m<sup>2</sup> •  
I.O.R.R (about) 25.0feet

**YAMAHA-C35CR**

L.O.A 10.60m • BEAM 3.35m • DRAFT 1.90m • DISPL 3.95ton •  
BALLAST 1.80ton • SAIL AREA 45.73m<sup>2</sup> •  
I.O.R.R (about) 25.45feet

**YAMAHA-R38**

L.O.A 11.51m • BEAM 3.60m • DRAFT 2.10m • DISPL 5.10ton •  
BALLAST 2.45ton • SAIL AREA 62.26m<sup>2</sup> •  
I.O.R.R (about) 29.1feet

**YAMAHA-R FARR 40**

L.O.A 12.19m • BEAM 3.99m • DRAFT 2.29m • DISPL 5.76ton •  
BALLAST 3.39ton • SAIL AREA 73.66m<sup>2</sup> •  
I.O.R.R (about) 30.5feet



## YAMAHA-R SERIES

●Y・Rシリーズは基本仕様をベースに、お客様のご要望により、仕様の変更、レーティング対策などを打ち合わせのうえ建造いたします。

●なお、シリーズ艇以外のご相談もお受けいたします。

### FOR GOOD MARINE LIFE! 安全がマリンスポーツの基本です。

■天気予報を確認して、無理のない航行を ■法規やマナーを守りましょう ■立入禁止水域や船舶航行の頻繁な水域は避けましょう ■点検・整備を忘れずに ■乗船前に、免許と法定備品の確認を ■漁業者に迷惑をかけない様にしましょう  
●カタクニ希望の方は、船名・雑誌名を明記のうえ、重伝課まで ●ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500

ヤマハ製品についてのお問い合わせは、下記までどうぞ

|                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 北海道ヤマハ株..... ☎011-612-1060 | ヤマハ関西株..... ☎06-535-1671  |
| ヤマハ東北株..... ☎022-235-1031  | ヤマハ中国株..... ☎082-285-4911 |
| ヤマハ東京株..... ☎03-572-2021   | ヤマハ西国株..... ☎0878-67-3800 |
| ヤマハ中部株..... ☎052-913-2121  | ヤマハ九州株..... ☎092-472-5261 |

## 第4回日本海ヨットレース(平和の白い帆'87)について

日本海レース実行委員会

第4回日本海ヨットレースは、日本外洋帆走協会と全ソスポーツ委員会及びソ連沿海州スポーツ委員会が主催し、北海道・朝日新聞北海道支社・北海道テレビ放送(HTB-TV)日刊スポーツ新聞の後援ならびに関係団体の協賛で行っている国際外洋ヨットレースです。

平和と友好を基調にし、日本海に新時代を築こうという趣旨で始められたレースで、日本海沿いの北海道の港と沿海州のナホトカ港の間約550哩を結び、毎年出発港と到着港を交代するものです。

日本海のなかでも北緯41度から同45度、東経132度から同142度の線にはさまれた海域は、さほど広くはありません。しかし、北上する暖流(対馬海流)や、シベリア大陸から吹き込む乾いた涼しい風などの影響で、大洋に匹敵する激しい気象や潮流を生み出し、特に津軽海峡の縦断は世界でも例のない過激なコースであり、ヨットレースの舞台としては申し分ありません。

第4回レースは、室蘭市(日本・北海道)が出発港になります。海の男達の健闘を讃えてスタート前には室蘭市で、ゴール後はナホトカ市(ソビエト)で楽しいパーティーがあるほか、沿海州と北海道の観光小旅行や文化施設の訪問など、さまざまな行事を予定しております。

もし、このレースに興味を持ち、参加される希望がおありならばすぐに御連絡下さい。詳しい資料を送ります。前3回のレースは、日ソの両国ヨットマンによる競技でしたが、今回はフランスを始めアメリカ・オーストラリア・ニュージーランド・シンガポール・フィリピン・香港にも参加してもらい、より大きな国際レースに育てていくつもりであります。

## 記

## 1. 日時と距離

1987年8月16日(日): 室蘭市長杯レース 地球岬沖 30マイル

1987年8月18日(火): 日本海レース 室蘭市スタート 450マイル

1987年8月22日(土)～8月23日(日): ナホトカ市ゴール

1987年8月25日(火): 全ソスポーツ委員会杯レース ナホトカ湾 30マイル

(連続参加でなくても可)

## 2. 参加資格・適応規則

NORC日本海レース実施要領及び室蘭市長杯レース実行委員会実施要項を適用します。

## 3. ソ連入国後の行事

ソ連入国は8月27日でナホトカ市は、外国人に開放されない街(市内及び近郊に立ち入ることは出来ない)ですが、特にレース参加者のみが許され市内観光、文化・スポーツ施設の訪問等を予定しています。盛大な各種歓迎行事が予定されていますので、積極的に参加されることをおすすめします。

## 4. ソ連のビザ申請

ソ連へのビザ申請は実行委員会が一括して行いますので、各艇ごとに全乗組員のパスポートをまとめて6月20日までに実行委員会に提出して下さい。

手数料は、1人10,000円です。

## 5. 実施要項

日本海レースはNORC、室蘭市長杯は室蘭実行委員会で、それぞれ制作中ですので完成次第郵送いたします。

## 6. 帆走指示書の配布

エントリーをした艇に対し、帆走指示書を配布します。

## 7. 広告の表示

艇別にスポンサーによる広告表示を希望する艇は、当レースの広告表示規定を配布します。

## 8. 問い合わせ先

〒060 札幌市中央区北2条西1丁目 朝日新聞北海道支社 企画事業室内  
日本海ヨットレース実行委員会事務局

TEL-011(281)2131 FAX-011(251)4517